

平成29年度

滝沢地域社会報告書



Takizawa benchmark report

はじめに

◆「第1次滝沢市総合計画」は、市民のみなさんの協力と参画により、一緒に策定しました

平成27年度からスタートした「第1次滝沢市総合計画」の策定にあたっては、「滝沢で暮らす幸せ」についてのアンケート、市役所幹部が市民のみなさんと直接お話をさせていただく場である「市政懇談会」での「幸福に関する」アンケート および市内各種団体や全小中学校でのグループインタビューなどを実施しました。

このような手法を取り、市民の皆さんが滝沢市の生活の中で何を想い、どのような「幸せ」を考えているのか、そのために市行政（市役所）は何をすべきなのかということ念頭において、多くの市民のみなさんの協力と参画をいただきながら、市民のみなさんと市行政と一緒に策定しました。

◆本報告書は、第1次滝沢市総合計画のベンチマーク^(注)です

「第1次滝沢市総合計画」では、その使命を「住民自治日本一を目指した、市民主体の幸福感を育む環境づくりの実践と、安心して暮らすためのセーフティネットの堅持」と設定しています。

そして、住民自治日本一を目指し、市民のみなさん自身の取り組み支援のために「幸福実感一覧表」を定め、各年代・場面ごとに幸福感を育む取組例、指標および目標値を設定しています。

また、市民のみなさんが安心して幸福感を育む行動ができるよう、市行政が取り組むべき内容を「暮らしやすさ一覧表」として定め、「めざす地域の姿」の実現に向けた視点ごとに、最適化条件、代表指標およびめざそう値を設定しています。

さらに、市民主体の地域づくりに関係する国や県、市の統計調査の結果等をまとめ、「主要統計データ」として把握しています。

本報告書では、これら3つの指標の現状値をまとめ、その推移の分析を行うことで、「第1次滝沢市総合計画」がどこまで進捗しているのかを掲載しています。

この調査や分析は今後も定期的に行い、市民のみなさんに公表した上で、ご意見などの評価を頂きたいと考えています。

(注) ベンチマーク… もともととは測量の水準点という意味です。ここでは、地域の現状やめざすべき将来像の実現状況を測定するための「ものさし」として用います。地域の姿を身近でわかりやすい指標を用いて、もともになる基準の数値を表し、最新の数値を将来の目標値や他の地域（自治体）と比較し、現状と未来を定期的に測定します。こういった取り組みをベンチマーキングと言い、民間企業の市場調査（マーケティング）等で用いられています。

◆「人とのつながり」を育み、「市民主体の地域づくり」を進めていきましょう

滝沢市の将来像である、「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」を実現するためには、市民のみなさんの「市民主体の地域づくり」が進んでいくことが非常に重要であり、その中では、個人で解決できない課題を家族や地域で解決するといった「人とのつながり」が広がっていくことで、「住民自治日本一」へとつながるものと考えています。

多くの市民のみなさんにこの報告書をお読み頂き、家族や地域、行政（市役所）の職員との話し合い等の「人とのつながり」の構築や、お住まいの地域課題の解決、幸福感を育む環境づくりへの取り組み等への一助としていただければ幸いです。

◆今後も見直していきます

市民のみなさんへのPRの仕方、調査の方法や本報告書全体の内容やデザインなどについては、市民のみなさんにとって、より分かりやすく使いやすい報告書にしていくため、毎年見直しを行っていきたくて考えておりますので、ご意見・ご要望などがございましたら、ご連絡を頂ければ幸いです。

平成30年8月

滝沢市企画総務部企画政策課

目次

はじめに

第1部 幸福実感一覧表に関する報告	1
1 幸福実感一覧表とは	2
2 年代別・場面別の区分について	2
3 幸福実感一覧表の進捗状況と目標値について	2
4 データの出典について	2
5 報告ページの見方	3

幸福実感 一覧表 世代別

すこやか世代	4
学び・成長世代	5
自立世代	6
子育て世代	7
充実世代	8
円熟世代	9
全世代	10

第2部 暮らしやすさ一覧表に関する報告	11
1 暮らしやすさ一覧表とは	12
2 「めざす地域の姿」と、その実現に向けた視点	12
3 暮らしやすさ一覧表の進捗状況と、市民ニーズの把握について	12
4 データの出典について	12
5 報告ページの見方	13

※以下、最適化条件ごとの目次となります。

活かす

1 自然環境に配慮する取組が行われている	14
2 自然とふれあえる環境がある	14
3 市に豊かな自然がたくさん残されている	15

支え合う

4 みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる	16
5 隣り近所とのつきあいがある	16
6 地域に安心できる防災の仕組みがある	17
7 家族がお互いに支え合っている	18
8 ボランティアやNPO活動が活発である	18
9 地域の中に支え合う仕組みがある	19
10 市に犯罪がない	19

輝く

11 心身ともに元気で暮らせる	20
12 老後の不安なく暮らせる	20
13 子ども達が不安なく暮らせる	21

輝く

14	一人一人の個性が尊重されている	21
15	高齢者が自ら率先して活躍している	22
16	健康や介護などを学べる「場」がある	22
17	かかりつけの病院がある	23
18	放課後の子どもの居場所がある	23
19	安心して子育てができる	24

暮らす

20	交通安全が保たれている	25
21	急病の時に病院に行きやすい	25
22	交通の便がよく、移動がしやすい	26
23	ずっと住みたいと思える市である	26
24	市役所の仕事は信頼できる	29

学ぶ

25	自ら学んだり、取り組める環境がある	33
26	子どもたちが生き生きとしている	34
27	自分の夢の実現のために取り組むことができる	34
28	子どもたちの体力・学力が向上する	35
29	地域と学校の間で交流がある	36
30	スポーツに親しむ機会がある	37

働く

31	働く場がある	38
32	農業の担い手がいる	38
33	みんなが自分のやりたい仕事ができる	39
34	子育てしながらでも安心して働くことができる	39
35	市の特色を活かした産業がある	40
36	地場産品が広く販売されている	41

受け継ぐ

37	文化・伝統が受け継がれている	42
38	文化・伝統や芸術に親しむ機会がある	42
39	チャグチャグ馬コの知名度が活かされている	43

集う

40	必要な情報が分かりやすく伝わる	44
41	同じ目的を持った人との交流がある	44
42	地域間での交流がある	45
43	必要な時に欲しい情報が得られる	45
44	人々が集まり活動できる場所がある	46
45	地域や世代を超えて市全体がつながっている	46

第1部

幸福実感一覧表に関する報告

1 幸福実感一覧表とは

「幸福実感一覧表」は、地域づくりにつながる、幸福感を育む市民一人一人の行動の一覧表です。

市民の年代と生活の場面ごとに、それぞれ幸福感を育む行動をまとめ、それを測定する「象徴指標」と「目標値」、また具体的にどのような行動をとれば幸福感を育めるかという「行動例示」を掲げています。

この一覧表の策定に際しては、自治会をはじめとした各種団体との懇談会やグループインタビュー、市内小中学生や大学生のご協力を頂きながら、市民のみなさんが実際に感じる「幸福感」に極力近づける形での策定を行いました。

2 年代別・場面別の区分について

どのような時に、人は「幸福感」を感じるのかということを考えると、その人の年齢や立場等によってそれぞれ異なることが予想されます。また、それぞれの場面に応じて幸福感を感じる要因は変わってくるものと考えられます。

これらある程度共通化し、市民のみなさんの幸福実感の一助とできる表を作成するため、幸福実感一覧表においては「年代」と「場面」で以下のとおり区分を行ったうえで、それぞれに応じた行動、指標および目標値を整理しています。

また、全市民共通の部分として「全世代」の区分も設定しています。

(1) 年代別区分

象徴世代	すこやか世代	学び・成長世代	自立世代	子育て世代	充実世代	円熟世代	全世代
対象年齢	0～5歳	6～17歳	18～49歳	50～64歳	65歳～	全年齢	

(2) 場面別区分

場面	概要
喜び・楽しさ	笑顔や元気、良好な人間関係など、「ワクワク」するような場面
成長・学び	知識を活かし、趣味や地域活動に取り組むなど、「イキイキ」するような場面
生活環境	体を動かし、豊かな自然とふれあうなど、「サワヤカ」な場面
安全・安心	悩みの相談ができたり、助け合ったりできるなど、「ホッ」とするような場面
人とのふれあい	子どもを見守ったり、地域に仲間がいて支え合ったりできるなど、「絆」のある場面

3 幸福実感一覧表の進捗状況と目標値について

本報告書では、幸福実感一覧表に基づき、各場面の象徴指標について、各年代毎に1ページにまとめ、平成29年度の実績値と動きの把握を行い、世代ごとに市民の皆さんの取り組みの分析を行います。

また、各象徴指標には、総合計画基本計画の年次に合わせ、平成30年度と平成34年度にそれぞれ目標値を設定しています。現状値とこれらの目標値を照らし合わせ、幸福実感一覧表の進捗を把握します。

4 データの出典について

平成29年度実績値については、主に「平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート調査報告書」のデータを用いています。

なお、当該アンケートについては、一定の範囲で誤差が見込まれます。「平成28年度滝沢地域社会に関するアンケート調査報告書」においては、18歳以上市民でみたときに誤差率を±3.1%と算定しています。このため、本報告書においては、「平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート調査報告書」に基づく各種指標について、その推移が軽微であった場合には、「ほぼ横ばい」もしくは「横ばい」という表現を用いています。

5 報告ページの見方

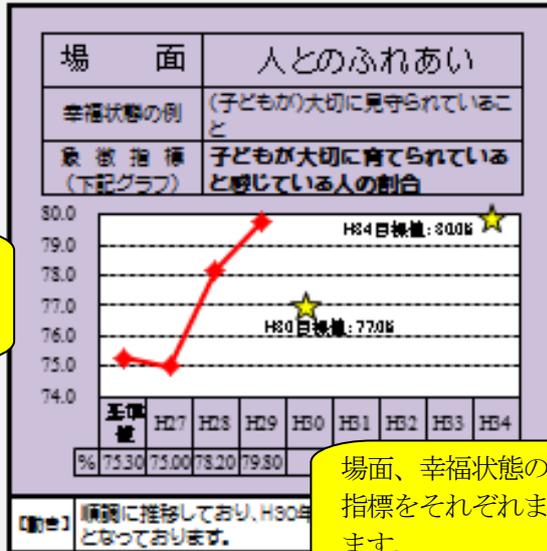
象徴世代 (0歳~5歳)
すこやか世代

世代名を表しています。

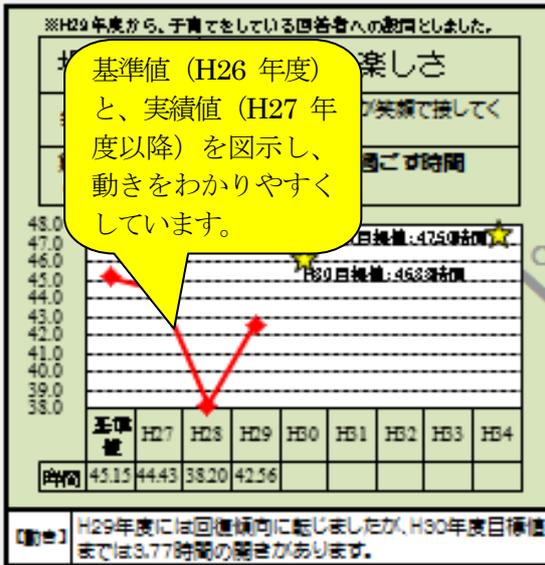
各場面の指標の動きを踏まえて、世代ごとの行動分析を簡潔に示しています。

POINT

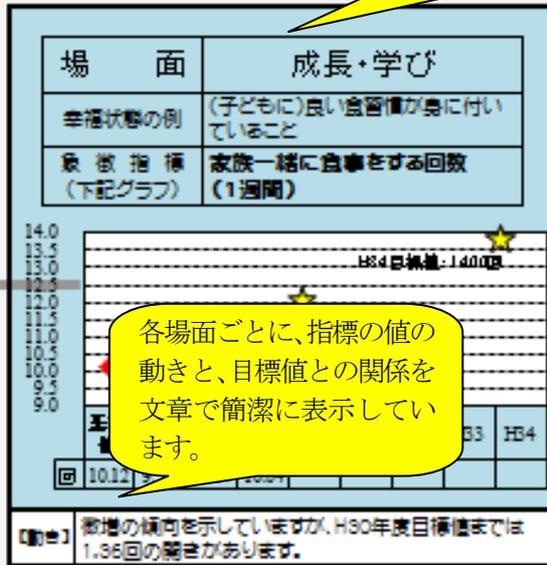
すこやか世代の幸福感については、全般的に順調に推移しています。子どもを安心して預けられる相手がいるという視が多く、ここでも「人とのつながり」の達成が進んでいることが伺えます。



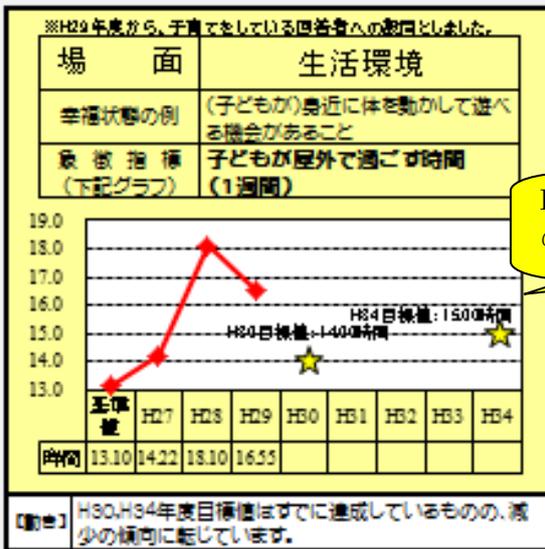
場面、幸福状態の例、象徴指標をそれぞれまとめています。



基準値 (H26年度) と、実績値 (H27年度以降) を図示し、動きをわかりやすくしています。



各場面ごとに、指標の値の動きと、目標値との関係を文章で簡潔に表示しています。



H30年度およびH34年度の目標値を示しています。



★・・・H30年度およびH34年度各目標値

象徴世代（0歳～5歳）

すこやか世代



POINT

すこやか世代の幸福感については、全般的に順調に推移しています。子どもを安心して預けられる相手がいるという親が多く、ここでも「人とのつながり」の醸成が進んでいることが伺えます。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)大切に见守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが大切に育てられていると感じている人の割合



【動き】 順調に推移しており、H30年度目標値はすでに達成済みとなっております。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	(子どもに)みんなが笑顔で接してくれること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもと一緒に過ごす時間 (1週間)



【動き】 H29年度には回復傾向に転じましたが、H30年度目標値までは3.75時間の開きがあります。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもに)良い食習慣が身に付いていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	家族一緒に食事をする回数 (1週間)



【動き】 微増の傾向を示していますが、H30年度目標値までは1.36回の開きがあります。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	生活環境
幸福状態の例	(子どもが)身近に体を動かして遊べる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが屋外で過ごす時間 (1週間)



【動き】 H30,H34年度目標値はすでに達成しているものの、減少の傾向に転じています。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合



【動き】 大幅に増加を示しており、H30,H34年度目標値を大幅に超えている状態となっております。

象徴世代（6歳～17歳） 学び・成長世代



POINT

子どもの地域行事への参加が課題となっています。
子どもの通学環境については、地域の見守りなどの「人とのつながり」により安全な環境づくりが進んできているといえます。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)積極的に地域に関わっていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	(子どもが)地域行事に参加した回数



【動き】 伸び悩みを見せており、H30年度目標値までは0.81回の開きがあります。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	(子どもが)楽しい学校生活を過ごせること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	仲の良い友達の数



【動き】 ほぼ横ばいで推移しており、H30年度目標値までは1.86人の差があります。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもが)夢中になって取り組めることがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合



【動き】 大幅な増を示しており、H30,34年度目標値をともに達成している状態です。

場 面	生活環境
幸福状態の例	地域の皆さんに(子どもが)見守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが安全に通学できると感じる人の割合



【動き】 順調な動きを示しており、H30, 34年度目標値をすでに達成している状態です。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	(子どもが)悩みを相談できる相手や機会を持っていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合



【動き】 大幅に増となっており、H30年度目標値をすでに達成している状態です。

★・・・H30年度およびH34年度各目標値

象徴世代（18歳～49歳）

自立世代



POINT

この世代に関しては、人とのふれあいを育むことが進んでいるものの、地域行事への参加数が伸び悩んでいることから、地域単位に限らない形での人とのつながりの醸成が進んでいる可能性が示唆されており、今後の検討課題といえます。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域に仲間がいること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の居心地が良いと思っ ている人の割合



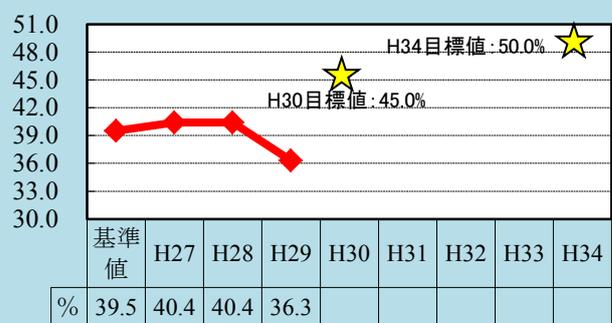
【動き】 順調な動きを見せており、H30年度目標値までは0.6ポイントと、達成に向け進んでいるといえます。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合



【動き】 緩やかに増を示していますが、H30年度目標値までは3.7ポイントの差があります。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合



【動き】 ほぼ横ばいから、減少に転じており、H30年度目標値までは8.7ポイントの差があります。

場 面	生活環境
幸福状態の例	地域の皆さんと交流の機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域のお祭りや行事に参加した回数



【動き】 低い水準での横ばいの動きが続いてしまっている状態で、H30年度目標値とは1.39回の差があります。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと
象 徴 指 標 (下記グラフ)	保育園、幼稚園、小学校などの行事へ参加している人の割合



【動き】 大幅な増を見せており、H30、34年度目標とをすでに達成している状態です。

象徴世代（18歳～49歳）

子育て世代



POINT

他の世代と比べ、伸び悩みを見せている指標が多いという特徴があります。世代の特性である「子育て」を念頭に置いた際に、現状の目標値が適切かどうかについても検討する必要があります。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	親と子供の関係が良好であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもと一緒に地域活動をした回数



【動き】低い水準での横ばいの動きが続いており、H30年度目標値までは1.42回の差があります。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	子どもたちの成長を確認できること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもとの会話の時間 (1週間)



【動き】上下の動きが激しい指標ですが、H29年度は大きく減となりました。H30年度目標値までは5.9時間と大きな差があります。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	情報時代に適応したモラル、スキルを学び、活かす機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	広報やインターネットなどで、地域の情報を収集・発信している人の割合



【動き】低い水準での横ばいの動きが続いており、H30年度目標値までは7.1ポイントの差があります。

場 面	生活環境
幸福状態の例	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	参加したいと思える地域行事の数



【動き】低い水準での横ばいの動きが続いており、H30年度目標値までは1.25回の差があります。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合



【動き】横ばいの動きが続いており、H30年度目標値までは1.4ポイントの差があります。

★・・・H30年度およびH34年度各目標値

象徴世代（50歳～64歳）

充実世代



POINT

これまで最もニーズの大きい項目であった、「老後の生活設計に不安がない」という項目が大きく前進している一方、楽しむ、リフレッシュ等に関する項目が減少し続けていることから、今後は「老後を楽しむ」といった視点での検討が必要となる可能性があります。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域活動などに無理なく参加できる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域活動と自分の活動を両立できていると感じている人の割合



【動き】 緩やかな減少傾向を見せており、H30年度目標値までは8.1ポイントの差があります。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	世代を越えて交流する機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	ここ一年で地域活動に参加した人の割合



【動き】 H28年度に一度H30年度目標値を達成していますが、再度下回ることとなり、1.3ポイントの差があります。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合



【動き】 伸び悩みを見せており、H30年度目標値までは3.3ポイントの差があります。

場 面	生活環境
幸福状態の例	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合



【動き】 減少傾向を見せている指標となっており、H30年度目標値までは11.7ポイントの非常に大きな差が出ています。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	老後の生活設計が描けること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	老後の生活設計に不安がない人の割合



【動き】 順調な推移を示しており、H30年度目標値をすでに達成している状態です。

★・・・H30年度およびH34年度各目標値

象徴世代（65歳～）

円熟世代



POINT

地域とつながっていると感じている人が増えている一方、地域の役に立つと感じている人の割合は減少していることから、地域とのつながり方に変化が出てきている可能性があります。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域にお互い支え合い、助け合う仕組みが整っていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域とつながっていると感じている人の割合



【動き】 順調な動きを示しており、H30年度目標値までは0.3ポイントの差となっています。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の役に立つ機会を持っていると感じている人の割合



【動き】 横ばいから減少の傾向を示しており、H30年度目標値までは10.6ポイントと非常に大きな差があります。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合



【動き】 低い水準での横ばいの動きが続いており、H30年度目標値までは6.6ポイントと、大きな差があります。

場 面	生活環境
幸福状態の例	豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	自分の散歩コースを持っている人の割合



【動き】 増減を繰り返していますが、H29年度は減少に転じ、H30年度目標値までは11.1ポイントと非常に大きな差があります。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	いざという時にも、助け合える繋がりがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合



【動き】 順調な動きを見せており、H30、H34年度目標値をともに達成している状態です。

象徴世代 全世代



POINT

「幸せに暮らしている」という指標と、「愛着を感じている」という指標の動きがリンクしているため、市への愛着が個人の幸せとつながっている可能性が示唆されています。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	市民が互いに支え合いながら、幸せを実感して暮らせること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



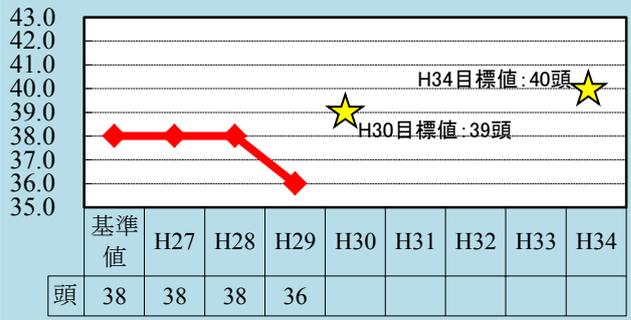
【動き】 増減を繰り返していますが、H29年度は減少に転じており、H30目標値までは7.9ポイントと大きな差があります。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	世界や全国で活躍する人材を育む滝沢市であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	芸術文化およびスポーツに関する市特別表彰の件数(累計数)



【動き】 順調な推移を続けており、H30・34目標値をとともに達成している状態です。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	チャグチャグ馬コが受け継がれていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	チャグチャグ馬コの滝沢市からの参加馬数



【動き】 前年度から2頭の減となり、H30目標値との開きは3頭となっています。

場 面	生活環境
幸福状態の例	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域清掃活動への参加者数



【動き】 緩やかではありますが、2年連続の減少傾向となっています。H30目標値とは3,474人の開きがある状態です。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	滝沢市の暮らしに安心感と愛着があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	滝沢市に愛着がある人の割合



【動き】 増減を繰り返していますが、H29年度は減少に転じ、H30年度目標値とは2.4ポイントの開きがある状態です。

第2部

暮らしやすさ一覧表に関する 報告

1 暮らしやすさ一覧表とは

「暮らしやすさ一覧表」は、市行政が市民主体の地域づくりを支え、支援するために取り組むべき内容を一覧にしたものです。

分類としては、滝沢市自治基本条例第5条に規定する8つの「めざす地域の姿」毎に視点を定め、その視点を通し第1次総合計画がめざすまちの姿を設定しています。そしてその下に45の「最適化条件」を定め、最適化条件を満たすための「代表指標」と「めざそう値(目標値)」を設定しています。

2 「めざす地域の姿」と、その実現に向けた視点

第1次滝沢市総合計画は、滝沢市自治基本条例の理念を実現するための行動計画です。そして滝沢市自治基本条例においては、めざす地域の姿を定めています。これに対応し、第1次滝沢市総合計画では、その地域の姿の実現に向けた視点を次のとおり定め、その視点を通して「めざすまちの姿」として次のとおり整理しています。

めざす地域の姿 (自治基本条例)	視点	めざすまちの姿 (第1次滝沢市総合計画)
岩手山を背景とした景観を守り、恵まれた自然と調和した地域	活かす	恵まれた自然環境を身近に感じ、暮らしに活かすまち
みんなで考え、話し合い、共に行動し、絆で結ばれた地域	支えあう	互いに支えあい、人とのふれあいが生活に潤いを与えるまち
保健・福祉・医療が充実し、誰もが安心して元気に暮らせる地域	輝く	みんなが健康づくりに取り組み、一人一人が輝きながら、安心して暮らせるまち
地域の防災・防犯対策が充実し、誰もが快適な生活を実感し、安全・安心に暮らせる地域	暮らす	安全で快適な暮らしが実感できるよう、みんなで取り組むまち
学校・家庭・地域の連携により教育環境が充実し、誰もが生涯にわたって学べる地域	学ぶ	子どもから高齢者まで、夢を抱き、夢に向かって互いに学びあい、成果を活かせるまち
地域資源を活かし、産業を育成し、誰もが働きやすい地域	働く	雇用環境が充実し、みんなが安心して生き生きと働けるまち
歴史・伝統を守り、文化を創造する地域	受け継ぐ	次世代に伝統と文化を受け継ぎ、ふるさとに愛着を持てるまち
年齢・性別に捉われず、誰もが参加しやすい地域	集う	地域と世代を越えて集い、人との関わりに幸せを実感して地域づくりができるまち

3 暮らしやすさ一覧表の進捗状況と、市民ニーズの把握について

本報告書では、暮らしやすさ一覧表に基づき、各最適化条件の重要度・満足度と、最適化条件に対応した代表指標の実績値、推移および4年後・8年後のめざそう値(目標値)についてまとめ、重要度・満足度の動きから見る市民ニーズの把握、各指標の動きとめざそう値との関係について報告しています。

特にも、「【重要度】－【満足度】＝【重要度と満足度の差】」としてとらえた場合に、その差が大きければ大きいほど、「市民の皆さんは重要だと思っているが、現状に満足できていない」ものとなり、市民のニーズは大きいものと捉えています。

4 データの出典について

データ出典については、各ページに明記してあります。

平成29年度実績値については、基本的に「平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート調査報告書」のデータを用いていますが、当該アンケートの誤差については、「幸福実感一覧表に関する報告(本報告書2ページ参照)」と同様の取り扱いとします。

5 報告ページの見方

各視点と目指すまちの姿を表しています。

視点 **活かす** 目指すまちの姿 **恵まれた自然環境を身近に感じ、暮らしに活かすまち**

最適化条件No. 1
自然環境に配慮する取組が行われていること

ページ左側では、最適化条件について報告しています。

重要度・満足度の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
満足度	3.07	3.07	3.07	3.07		
重要度	4.26	4.22	4.22	4.18		

指標の推移とめざそう値

住民1人1日あたりのごみ排出量 (g)

めざそう値: 940g
H24めざそう値: 900g

住民1人1日あたりのごみ排出量

重要度・満足度の動きと、そこから導き出される市民ニーズの動向について分析しています。

【分析】 住民1人1日あたりのごみ排出量(g)
【動き】 前年度から減少傾向にあり、目標は推移を促しています。めざそう値は50gの関係がある状況にあります。

最適化条件No. 2
自然と共生する環境があること

ページ右側では、各最適化条件に対応した代表指標について報告しています。

代表指標No. 2
鞍掛山登山者数

重要度・満足度の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
満足度	3.07	3.07	3.07	3.07		
重要度	4.26	4.22	4.22	4.18		

指標の推移とめざそう値

鞍掛山登山者数

めざそう値: 27千人
H30めざそう値: 25千人

鞍掛山登山者数

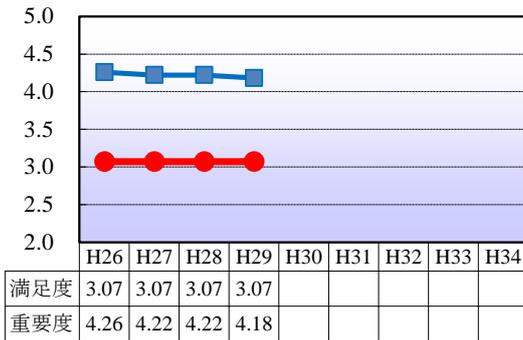
指標の定義と動きから、めざそう値との関係について表記しています。

【定義】 1年間に鞍掛山登山を行った人の数
【動き】 前年度から変化はありませんでした。H30めざそう値は3千人、H34めざそう値は5千人の大きな関係が出ています。

最適化条件No. 1

自然環境に配慮する取組が行われている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

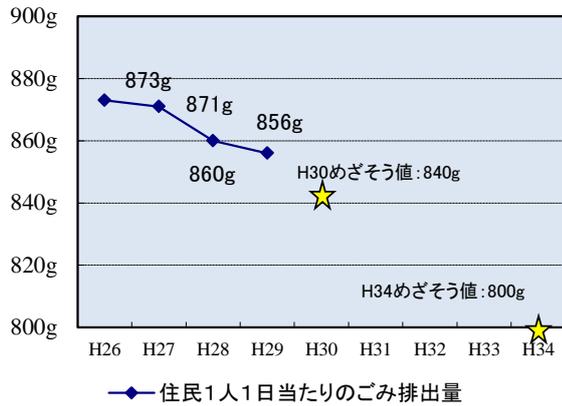
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「自然環境に配慮する取り組みが行われている」ことについて、市民アンケートでは満足度は変わらず、重要度が0.04ポイント減となり、満足度と重要度の差は1.11ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としては横ばいであることが伺えます。

代表指標No. 1

1日当たりのごみ排出量（住民1人当たり）

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：市民環境部環境課

【定義】 住民1人1日あたりのごみ排出量(g)

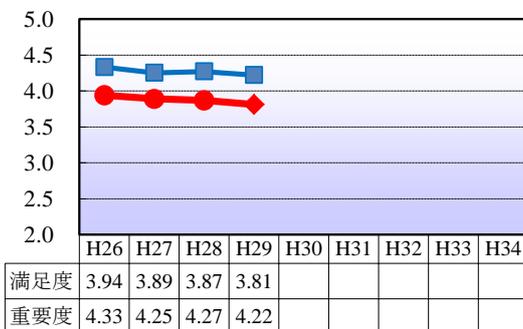
【動き】 前回調査から4gの減となっており、減少傾向を見せています。H30めざそう値とは16g、H34めざそう値とは56gの開きがある状態です。

※減少した方が望ましい指標となります。

最適化条件No.2

自然とふれあえる環境がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

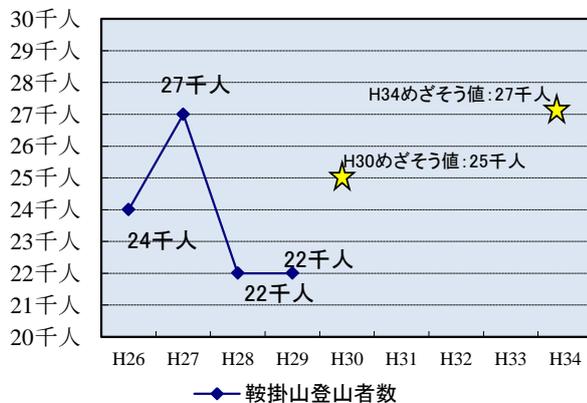
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「自然とふれあえる環境がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.06ポイント減、重要度が0.05ポイント減と、ほぼ横ばいの状態です。満足度と重要度の差は0.41ポイントとなっており、市民ニーズは比較的低めの水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.2

鞍掛山登山者数

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：経済産業部商工観光課

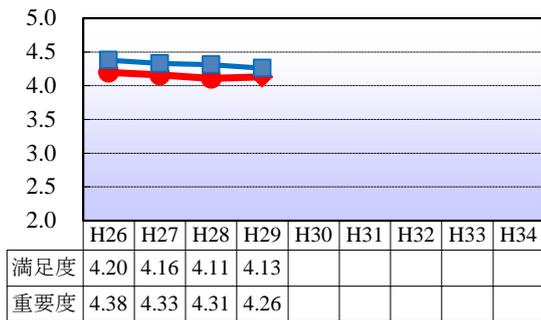
【定義】 1年間に鞍掛山登山を行った人の数

【動き】 前回調査から変化はありませんでした。H30めざそう値とは3千人、H34めざそう値とは5千人の大きな開きが出ています。

最適化条件No.3

市に豊かな自然がたくさん残されている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

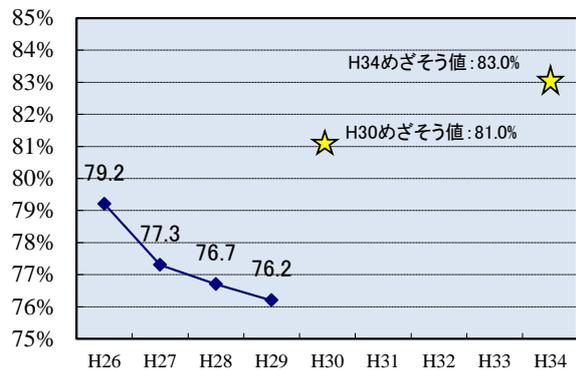
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「市に豊かな自然がたくさん残されている」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.02ポイントの増、重要度が0.05ポイント減と微減の動きを見せており、満足度と重要度の差は0.07ポイントと、市民ニーズとしては比較的低めの水準へ向かっていることが伺えます。

代表指標No.3

豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

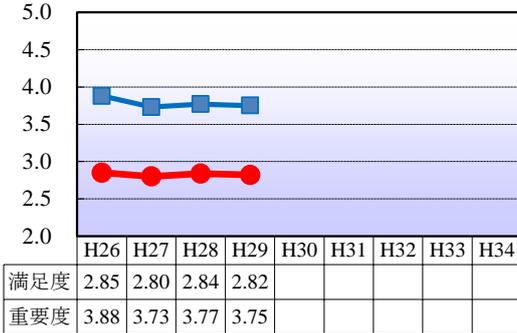
【定義】 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

【動き】 前回調査から0.5ポイント減となっており、減少を続けている状態です。H30めざそう値とは4.8ポイントの開きがあります。

最適化条件No.4

みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

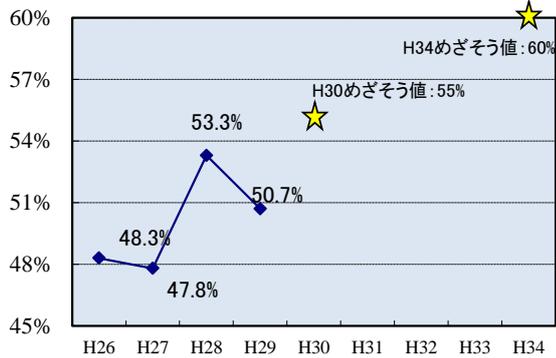
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる」ことについて、市民アンケートでは満足度・重要度共に0.02ポイント減とほぼ横ばいです。満足度と重要度の差についても、0.93と一定の市民ニーズはあるものの、その推移はほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.4

地域活動に参加している人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

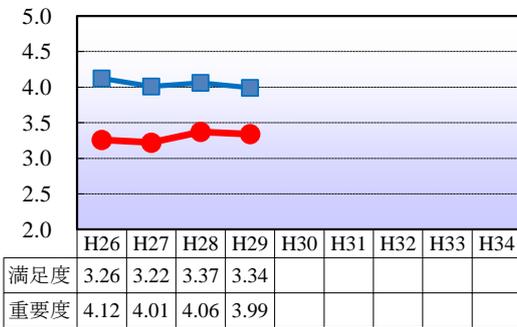
【定義】ここ1年で地域活動に参加した人の割合

【動き】前回調査から2.6ポイントの減となりました。H30年度めざそう値とは4.3ポイント、H34年度めざそう値とは9.3ポイントと、開きがあります。

最適化条件No.5

隣り近所とのつきあいがある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

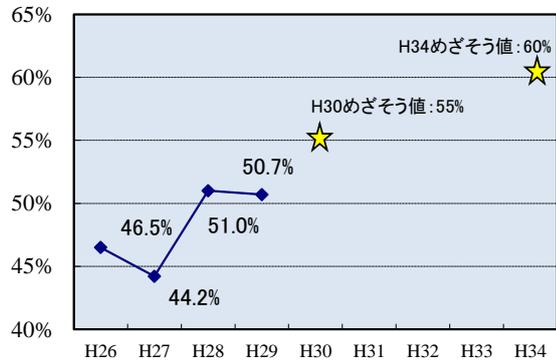
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「隣り近所とのつきあいがある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.03ポイント減、重要度が0.07ポイント減となっています。満足度と重要度の差は0.65ポイントと、重要度と満足度のギャップは減少傾向にあります。

代表指標No.5

隣り近所との付き合いがある人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

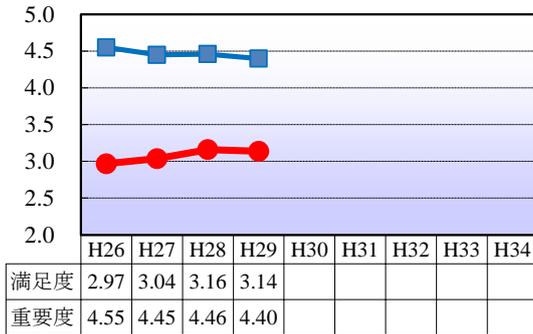
【定義】隣り近所との付き合いがあると感じている人の割合

【動き】前回調査から0.3ポイント減となり、ほぼ横ばいです。H30めざそう値とは4.3ポイント、H34めざそう値とは9.3ポイントの開きがあります。

最適化条件No.6

地域に安心できる防災の仕組みがある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

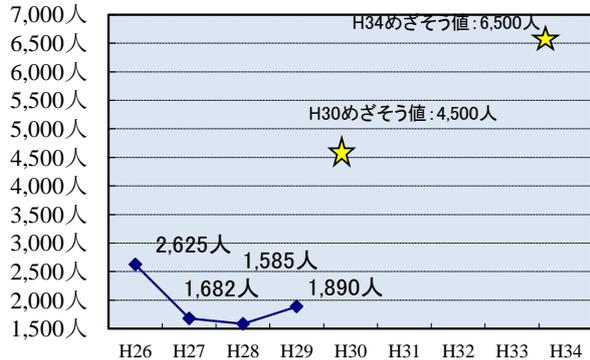
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「地域に安心できる防災の仕組みがある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.02ポイント減、重要度が0.06ポイント減となったことから、満足度と重要度の差は1.26ポイントと、重要度と満足度のギャップは減少傾向にあります。

代表指標No.6-1

自主防災組織訓練参加者数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 自主防災組織訓練参加者数

■ 出典：市民環境部防災防犯課

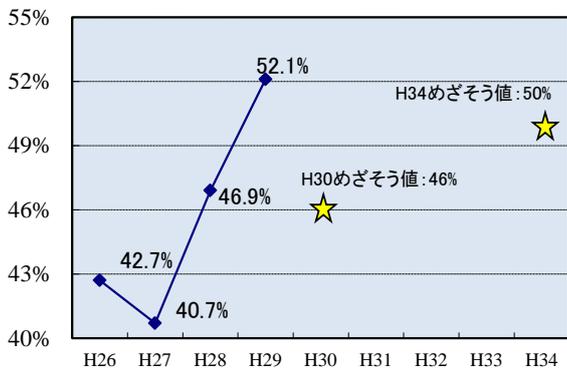
【定義】 自主防災組織訓練へ参加した人の数

【動き】 前回調査から305人の増となり、増加傾向に転じました。H30めざそう値とは2,610人、H34めざそう値とは4,610人の大きな開きがあります。

代表指標No.6-2

災害に強いまちだと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 災害に強いまちだと感じている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

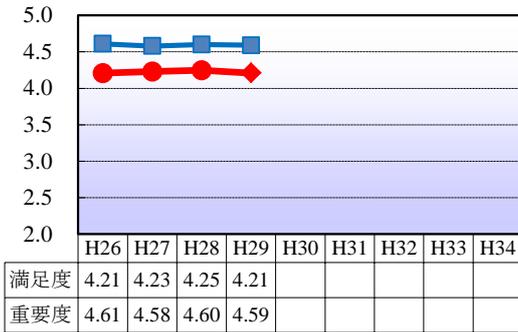
【定義】 滝沢市は災害に強いまちだと感じていますか

【動き】 前回調査から5.2ポイントの増と、順調な推移を見せ、H30・H34年度めざそう値を達成している状態となりました。

最適化条件No.7

家族がお互いに支え合っている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

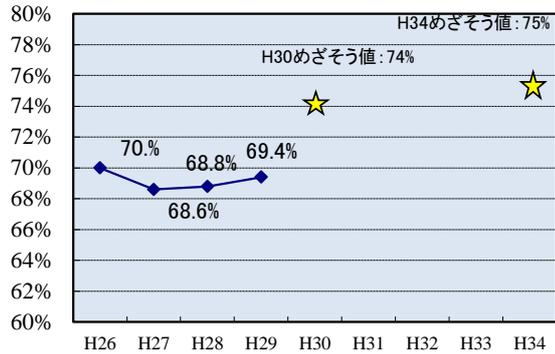
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「家族がお互いに支え合っている」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.04ポイント、重要度が0.01ポイント減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差も0.38ポイントとほぼ変わらず、市民ニーズは比較的低い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.7

家庭内での役割分担に満足している人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 家庭内での役割分担に満足している人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

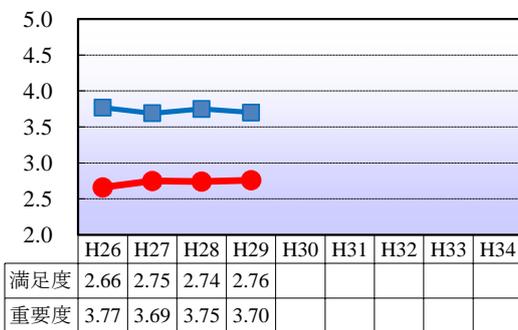
【定義】 家庭内の役割分担に満足している人の割合

【動き】 前回調査から0.6ポイントの増となり、ほぼ横ばいの推移となっています。H30年度めざそう値とは4.6ポイント、H34年度めざそう値とは5.6ポイントの開きがあります。

最適化条件No.8

ボランティアやNPO活動が活発である

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

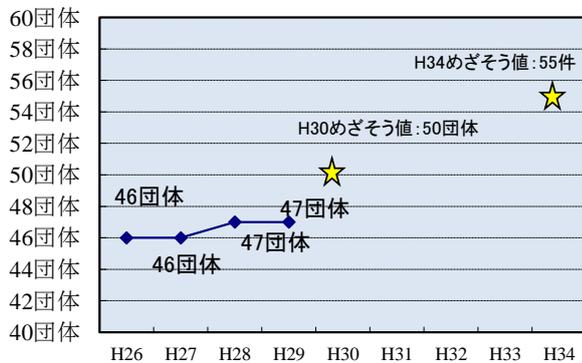
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「ボランティアやNPO活動が活発である」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.02ポイントの増、重要度が0.05ポイント減となっています。満足度と重要度の差は0.94ポイントと、市民ニーズはほぼ横ばいの状況にあるといえます。

代表指標No.8

滝沢市のボランティア登録団体数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 滝沢市のボランティア登録団体数

■出典：健康福祉部地域福祉課

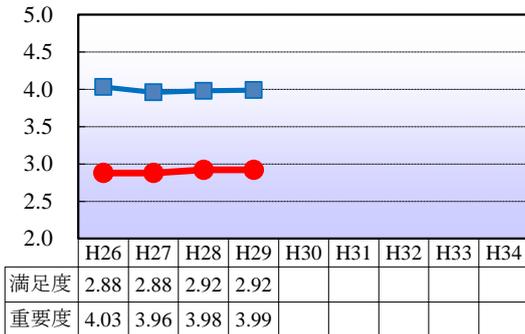
【定義】 滝沢市においてボランティア団体として登録している団体

【動き】 前回調査から変化はありませんでした。H30めざそう値とは3団体、H34めざそう値とは8団体の開きがあります。

最適化条件No.9

地域の中に支え合う仕組みがある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「地域の中に支え合う仕組みがある」ことについて、市民アンケートでは満足度は変わらず、重要度が0.01ポイント増と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.07ポイントと、市民ニーズについても比較的高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.9

滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合

指標の推移とめざそう値



滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合

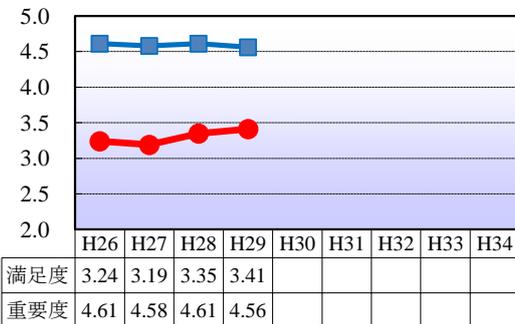
■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

- 【定義】 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと感じている人の割合
- 【動き】 前回調査から5.1ポイントの増となりました。順調な推移を見せているものの、H30年度めざそう値とは5.3ポイント、H34年度めざそう値とは10.3ポイントと、大きな開きがあります。

最適化条件No.10

市に犯罪がない

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

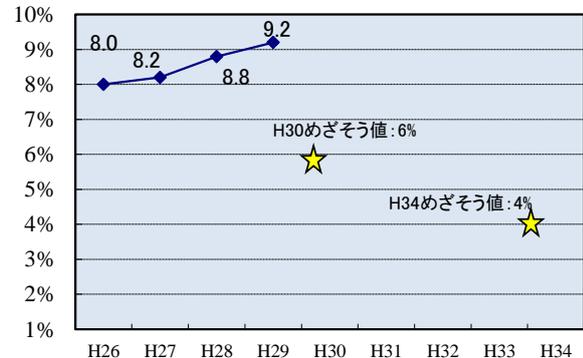
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「市に犯罪がない」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.06ポイントの増、重要度が0.05ポイント減となっています。満足度と重要度の差は0.11ポイントの減で、差自体は1.15ポイントと大きく、重要度と満足度のギャップは減少傾向にありますが、住民ニーズは高いままとなっています。

代表指標No.10

ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

指標の推移とめざそう値



ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

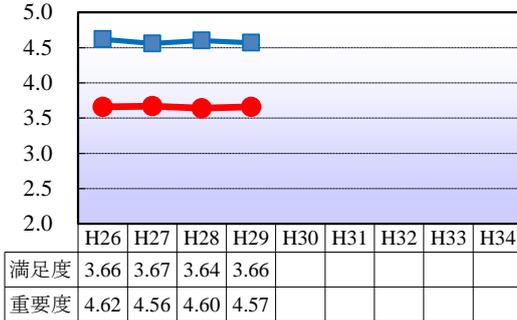
- 【定義】 ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合
- 【動き】 前回調査からは0.4ポイントの増となっています。H30年度めざそう値とは3.2%、H34年度めざそう値とは5.2%の開きがあります。

※減少した方が望ましい指標となります。

最適化条件No.11

心身ともに元気で暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

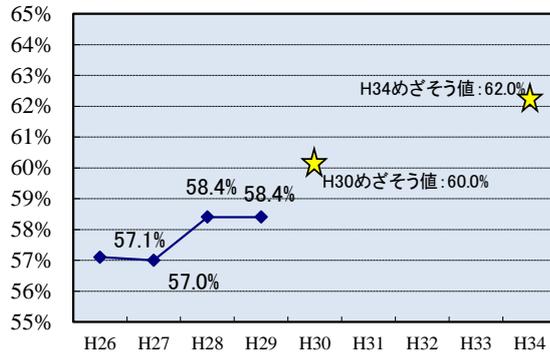
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「心身ともに元気で暮らせる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.02ポイント増、重要度が0.03ポイント減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.91ポイントと、市民のニーズは一定の水準を維持したままであることが伺えます。

代表指標No.11

自分が心身ともに元気と感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 自分が心身ともに元気と感じている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

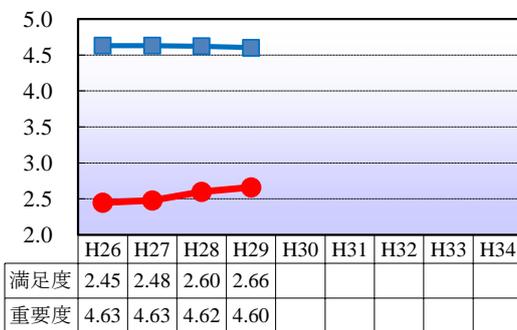
【定義】 心身ともに元気で暮らせると感じる人の割合

【動き】 前回調査から横ばいとなっています。H30年度めざそう値とは1.6ポイント、H34年度めざそう値とは3.6ポイントの開きがあります。

最適化条件No.12

老後の不安なく暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

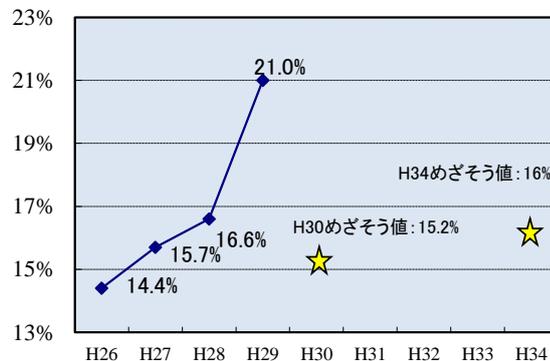
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「老後の不安なく暮らせる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.06ポイント増、重要度は0.02ポイント減となっています。満足度と重要度の差は0.08ポイントの減ですが、差の大きさ自体は1.94ポイントと、全最適化条件の中で最も大きく、ギャップは縮小傾向にあるものの、市民ニーズは非常に高い水準を維持していることが伺えます。

代表指標No.12

老後が不安なく暮らせると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

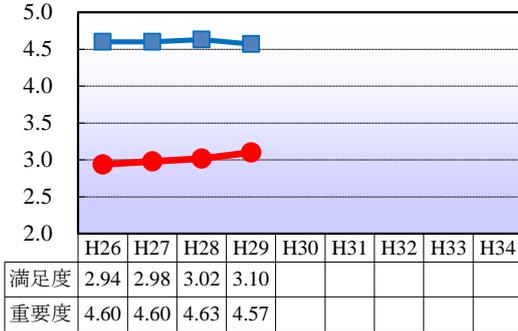
【定義】 老後が不安なく暮らせると感じる人の割合

【動き】 前回調査から4.4ポイントの増となり、順調な推移を続けている状態です。これはH30年度・H34年度めざそう値をともに達成している状態です。

最適化条件No.13

子ども達が不安なく暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

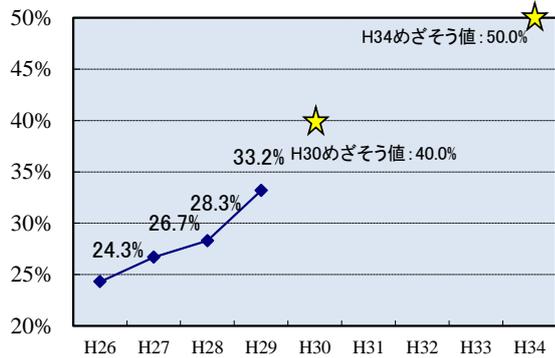
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「子どもたちが不安なく暮らせる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.08ポイント増、重要度は0.06ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.47ポイントと、依然として大きいことから、市民のニーズは高い水準を維持したまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.13

子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



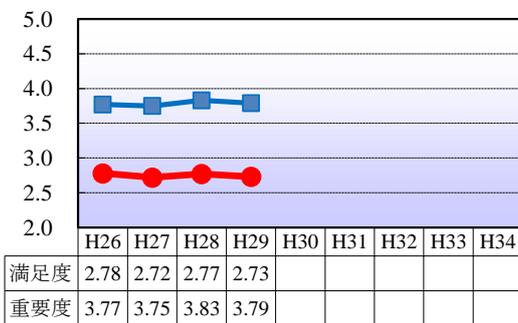
■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合
【動き】 前回調査から4.9ポイントの増となっています。H30年度めざそう値とは6.8ポイント、H34年度めざそう値とは16.8ポイントの大きな開きがあります。

最適化条件No.14

一人ひとりの個性が尊重されている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

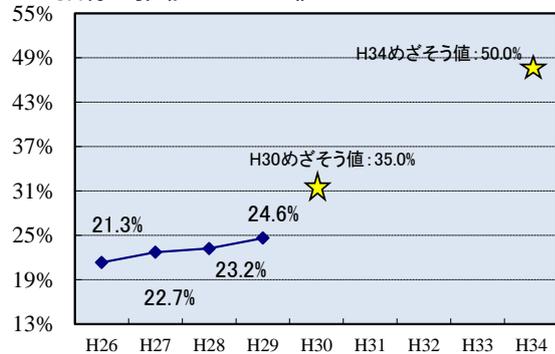
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「一人ひとりの個性が尊重されている」ことについて、市民アンケートでは満足度・重要度共に0.04ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.06ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、ほぼ横ばいの推移であることが伺えます。

代表指標No.14

障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



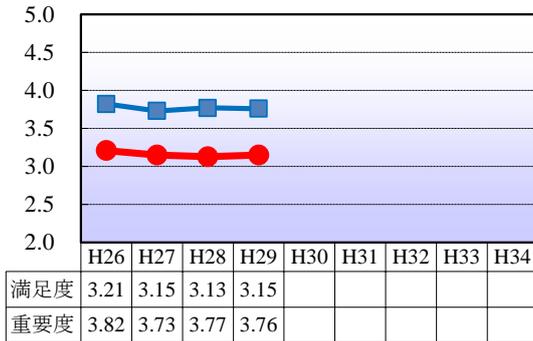
■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 障がいのある方の社会参加は進んでいると感じる人の割合
【動き】 前回調査から1.4ポイントの増となりましたが、H30年度めざそう値とは10.4ポイント、H34年度めざそう値とは25.4ポイントの非常に大きな開きがあります。

最適化条件No.15

高齢者が自ら率先して活躍している

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

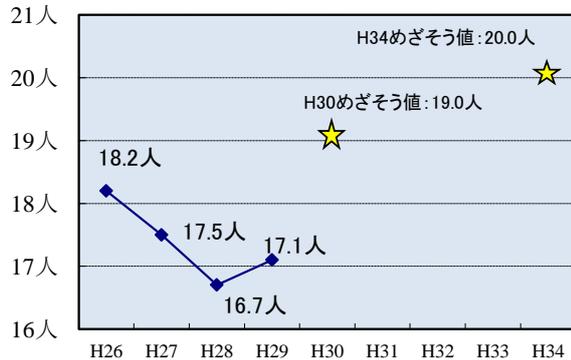
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「高齢者が自ら率先して活躍している」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.02ポイント増、重要度は0.01ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.61ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としては横ばいであることが伺えます。

代表指標No.15

シルバー人材センター加入人数（60歳以上人口1,000人当たり）

■ 指標の推移とめざそう値



◆シルバー人材センター加入人数(60歳以上人口1,000人当たり)

■出典：経済産業部商工観光課

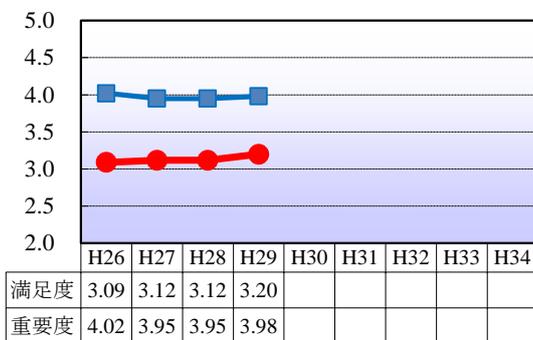
【定義】 60歳以上人口1,000人当たりのシルバー人材センター加入人数

【動き】 前回調査から0.4人の増となっており、初めて増加に転じました。H30めざそう値とは1.9人、H34めざそう値とは2.9人の開きがあります。

最適化条件No.16

健康や介護などを学べる「場」がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

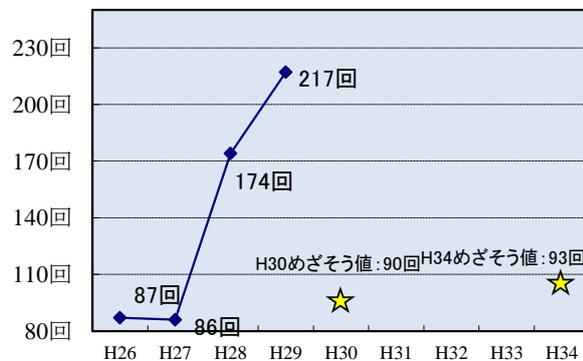
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「健康や介護などを学べる「場」がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.08ポイント増、重要度は0.03ポイント増と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差自体については0.78ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としては若干縮小傾向にあることが伺えます。

代表指標No.16

健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数

■ 指標の推移とめざそう値



◆健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数

■出典：健康福祉部健康推進課

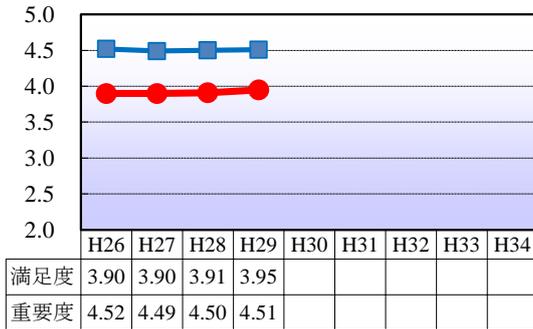
【定義】 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数

【動き】 前回調査から43回の大幅増となっており、引き続き順調な推移を続けています。H30・34めざそう値を共に達成している状態となっています。

最適化条件No.17

かかりつけの病院がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

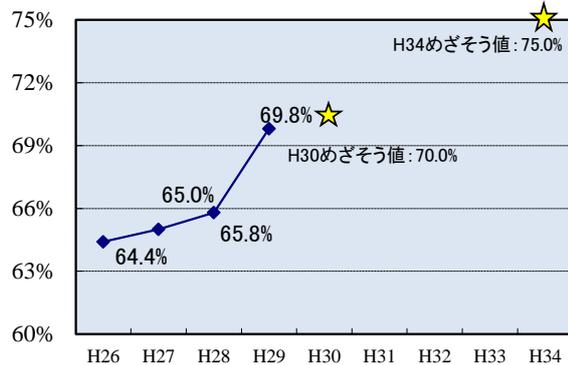
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「かかりつけの病院がある」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.04ポイント、重要度は0.01ポイント増と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.56ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としては横ばいであることが伺えます。

代表指標No.17

かかりつけ医を持っている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ かかりつけ医を持っている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

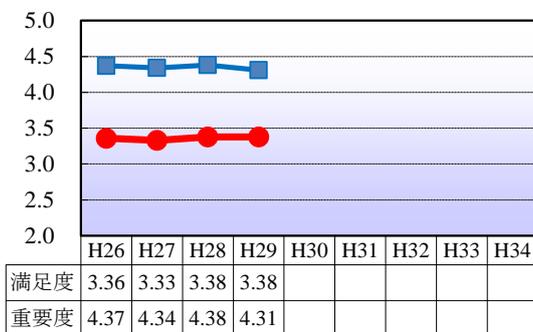
【定義】 かかりつけの病院がある人の割合

【動き】 前回調査から4.0ポイントの増と、順調な推移を見せています。H30年度めざそう値とは0.2ポイント、H34年度めざそう値とは5.2ポイントの開きがあります。

最適化条件No.18

放課後の子どもの居場所がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

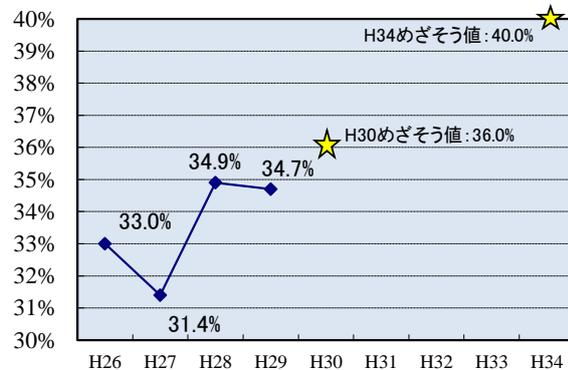
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「放課後の子どもの居場所がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が変化なし、重要度は0.07ポイント減となっています。満足度と重要度の差自体は0.93ポイントと、市民ニーズは一定の水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.18

放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

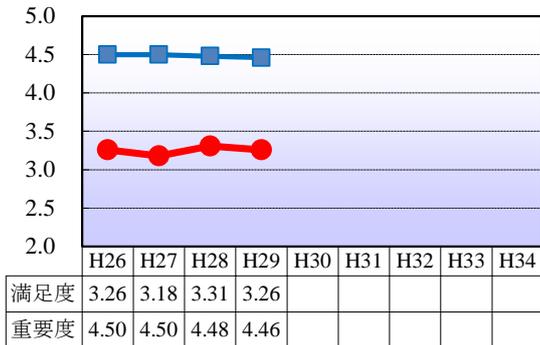
【定義】 放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

【動き】 前回調査から0.2ポイントの減と、ほぼ横ばいとなっています。H30年度めざそう値とは1.3ポイント、H34年度めざそう値とは5.3ポイントの開きがあります。

最適化条件No.19

安心して子育てができる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

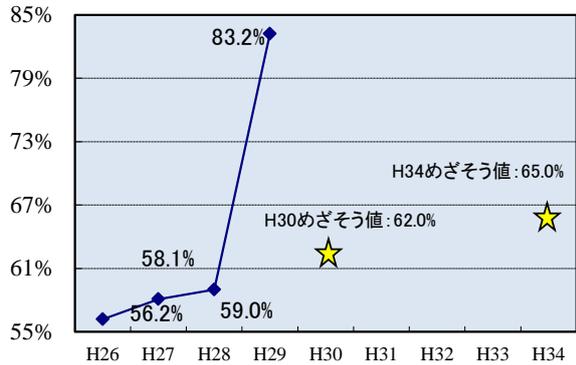
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「安心して子育てができる」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.05ポイント減、重要度は0.02ポイント減となり、満足度と重要度の差は1.20ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま推移していることが伺えます。

代表指標No.19

子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合

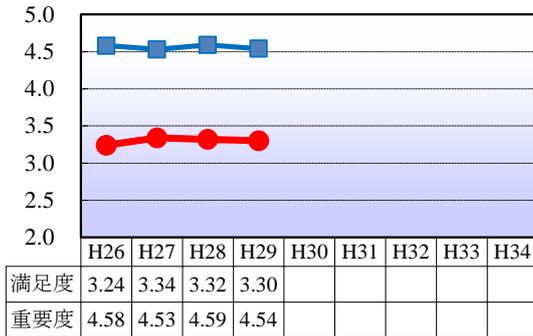
【動き】 前回調査から24.2ポイントの増と、大幅増となっています。H30・H34年度めざそう値を達成している状態となっています。

※H29年度から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

最適化条件No.20

交通安全が保たれている

■ 重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

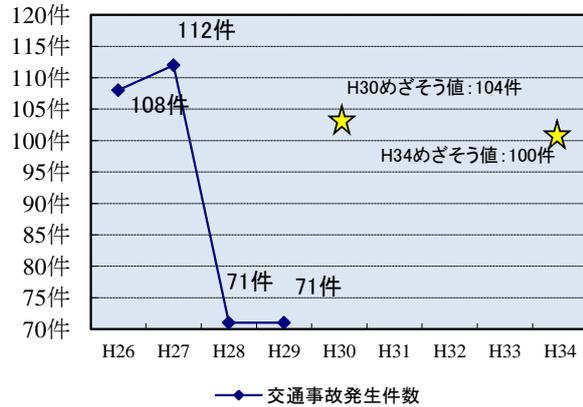
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「交通安全が保たれている」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.02ポイントの減、重要度は0.05ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.24ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.20

交通事故発生件数

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：市民環境部防災防犯課

【定義】 市内で発生した交通事故件数

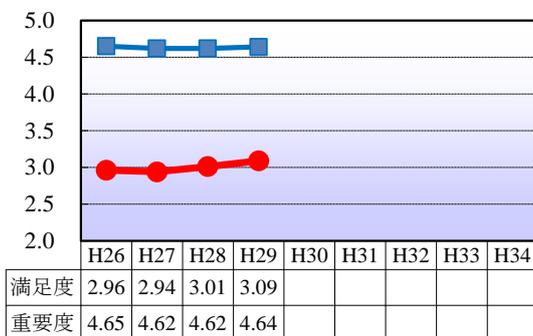
【動き】 前回調査から変化はありませんでした。H30・34めざそう値をすでに達成している状態となっています。

※減少した方が望ましい指標となります。

最適化条件No.21

急病の時に病院に行きやすい

■ 重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

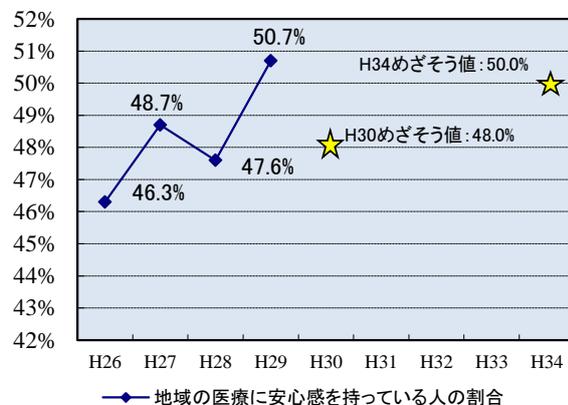
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「急病の時に病院に行きやすい」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.08ポイント増、重要度は0.02ポイント増と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差自体については1.55ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.21

地域の医療に安心感を持っている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

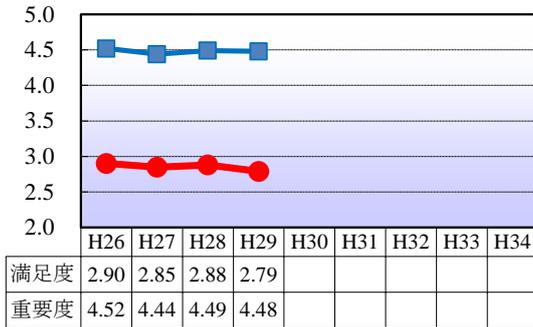
【定義】 地域の医療に安心感を持っている人の割合

【動き】 前回調査から3.1ポイントの増と、これまで増減を繰り返しながら伸びています。H30年度・H34年度めざそう値をともに達成している状態です。

最適化条件No.22

交通の便がよく、移動がしやすい

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

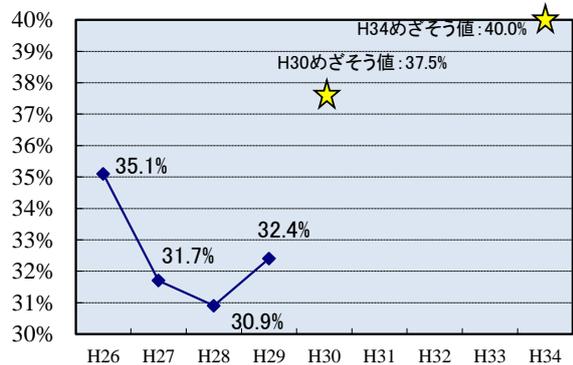
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「交通の便がよく、移動がしやすい」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.09ポイントの減、重要度は0.01ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.69ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.22

市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合

指標の推移とめざそう値



●市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

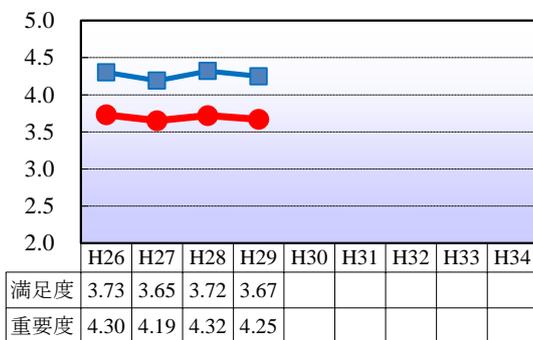
【定義】 滝沢市内のバスや電車は便利で利用しやすいと感じている人の割合

【動き】 前回調査から1.5ポイント増と、上昇に転じています。H30年度めざそう値とは5.1ポイント、H34年度めざそう値とは7.6ポイントの大きな開きがあります。

最適化条件No.23

ずっと住みたいと思える市である

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

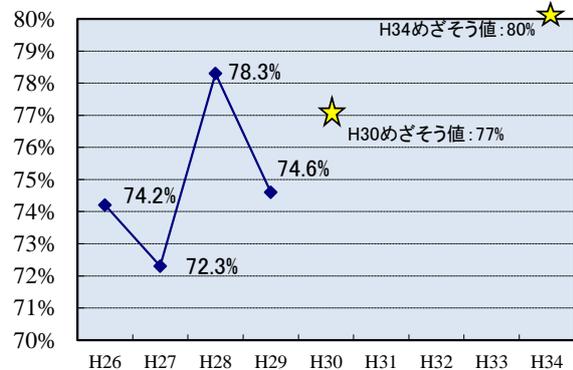
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「ずっと住みたいと思える市である」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.05ポイント減、重要度が0.07ポイント減となっています。満足度と重要度の差自体については0.58ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.23-1

滝沢市に愛着がある人の割合

指標の推移とめざそう値



●滝沢市に愛着がある人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

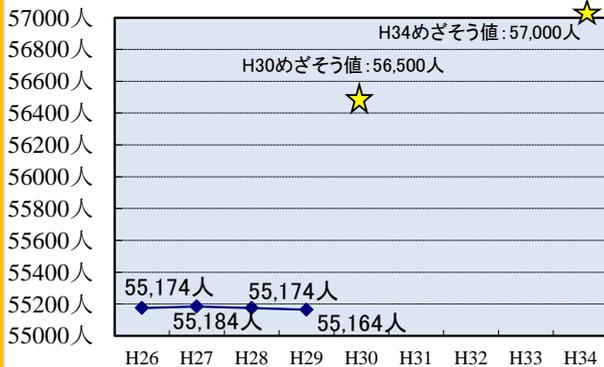
【定義】 滝沢市に愛着がある人の割合

【動き】 前回調査から3.7ポイントの減となり、これまでに増減を繰り返している指標です。H30めざそう値まで2.4ポイント、H34めざそう値とは5.4ポイントの開きがあります。

○ 代表指標No.23-2

住民基本台帳（9月末現在）による人口

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 住民基本台帳（9月末現在）による人口

■ 出典：市民環境部市民課

【定義】 9月末現在の住民基本台帳人口

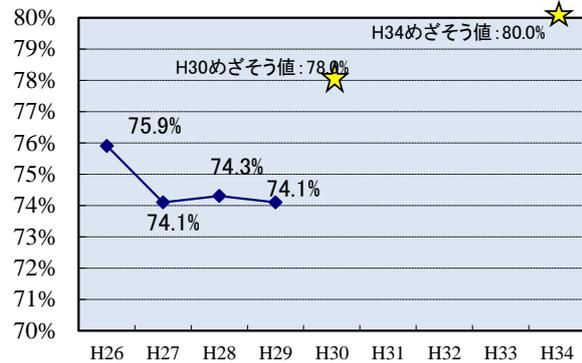
【動き】 前回調査から10人の減となりました。H30めざそう値とは1,336人、H34めざそう値とは1,836人の大きな開きがあります。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-3

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

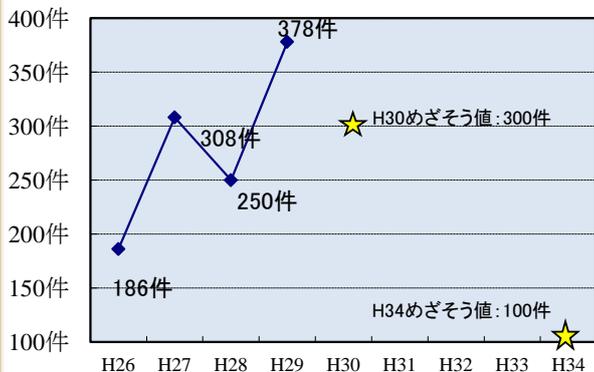
【動き】 前回調査から0.2ポイント減となりました。H30年度めざそう値とは3.9ポイント、H34年度めざそう値とは5.9ポイントの開きがあります。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-4

新規住宅着工数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 新規住宅着工数

■ 出典：都市整備部都市政策課

【定義】 市内新規住宅着工数

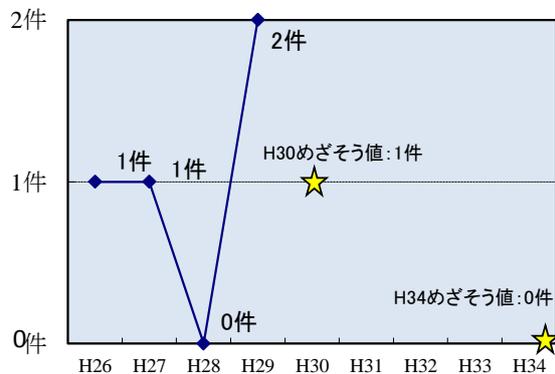
【動き】 増減の激しい指標ではありますが、前回調査から128件の大幅増となりました。H30・34めざそう値とともに達成している状態となっています。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。また、H34めざそう値については、新規着工数のみを対象としている点を鑑み、H30年度めざそう値よりも低い値としています。

○ 代表指標No.23-5

浸水被害件数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 浸水被害件数

■ 出典：都市整備部河川課

【定義】 市内浸水被害件数

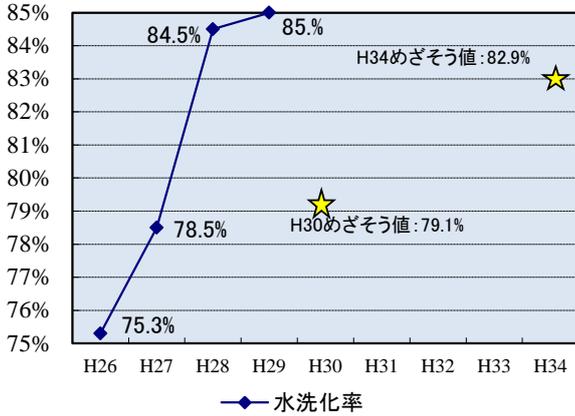
【動き】 浸水被害件数は2件となり、前回調査に比べると2件の増となっています。H30めざそう値とは1件、H34めざそう値とは2件の開きがあります。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。※減少した方が望ましい指標となります。

代表指標No.23-6

水洗化率

■ 指標の推移とめざそう値



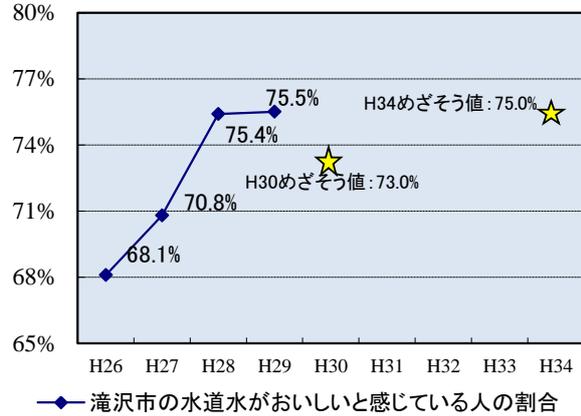
■ 出典：上下水道部下水道課
 【定義】 水洗化率（行政区域内人口に対する合併処理浄化槽合）
 【動き】 前回調査から0.5ポイントの増となり、順調に推移している状態となっています。H30・34めざそう値とともに達成している状態となっています。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-7

滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



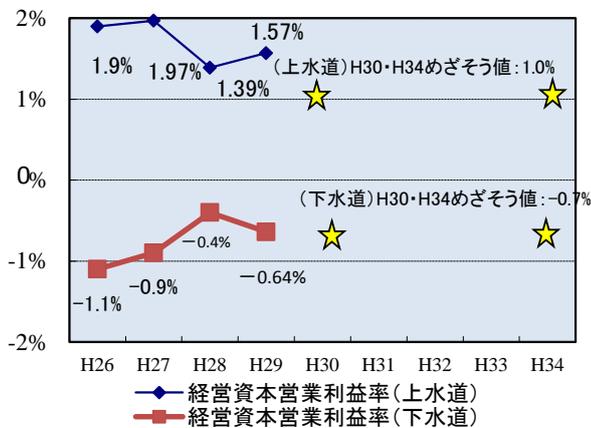
■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート
 【定義】 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合
 【動き】 前回調査から0.1ポイントの増となりました。高い水準を保っており、H30・H34年度めざそう値を共に達成している状態となっています。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-8

経営資本営業利益率（上水道・下水道）

■ 指標の推移とめざそう値



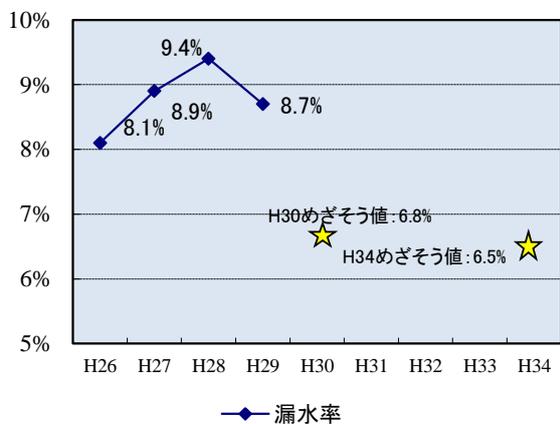
■ 出典：上下水道部水道総務課、上下水道部下水道課
 【定義】 上水道・下水道における経営資本営業利益率
 【動き】 前回調査から、上水道については0.21ポイントの増となり、下水道については0.24ポイントの減となっています。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-9

漏水率

■ 指標の推移とめざそう値



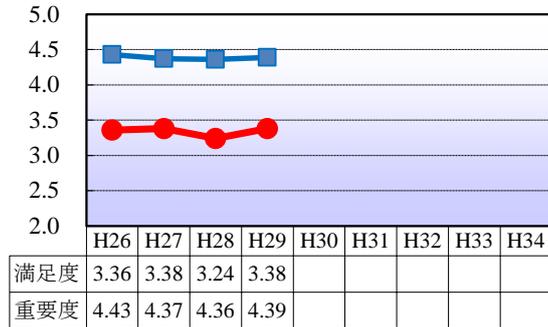
■ 出典：上下水道部水道整備課
 【定義】 市内上水道給水区域における漏水率
 【動き】 前回調査から0.7ポイントの減と、減少となり、指標の動きとしては前進となりました。H30めざそう値とは1.9ポイント、H34めざそう値とは2.2ポイントの開きがあります。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標となります。

最適化条件No.24

市役所の仕事は信頼できる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

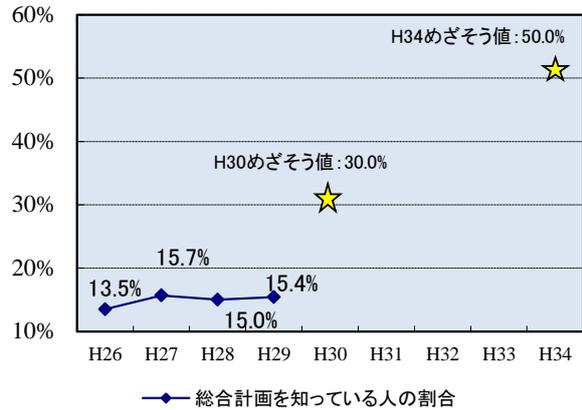
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「市役所の仕事は信頼できる」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.14ポイントの増、重要度は0.03ポイント増で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.01ポイントと、市民ニーズは高いまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.24-1

総合計画を知っている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

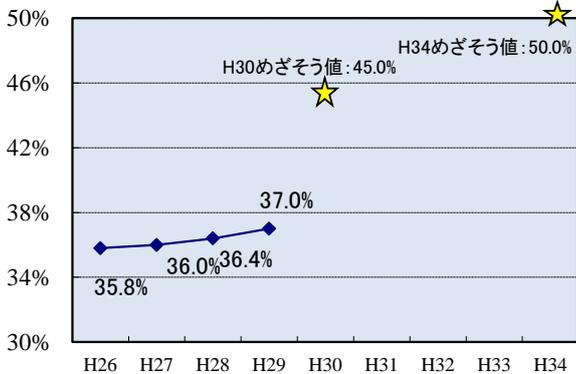
【定義】 滝沢市の総合計画を知っている人の割合

【動き】 前回調査から0.4ポイントの増となり、低い水準での横ばいが続いています。H30年度めざそう値とは14.6ポイント、H34年度めざそう値とは34.6ポイントの非常に大きな開きがあります。

代表指標No.24-2

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



●滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

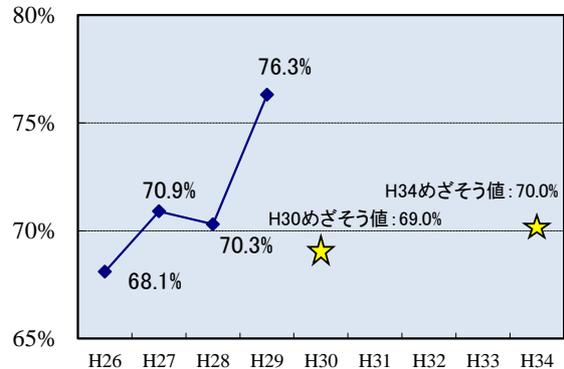
【動き】 前回調査から0.6ポイントの増と、微増傾向ではあるもののほぼ横ばいの状態となっています。H30年度めざそう値とは8.0ポイント、H34年度めざそう値とは13.0ポイントの開きがあります。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-3

窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



●窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 市役所窓口での説明が分かりやすく対応が良いと感じている人の割合

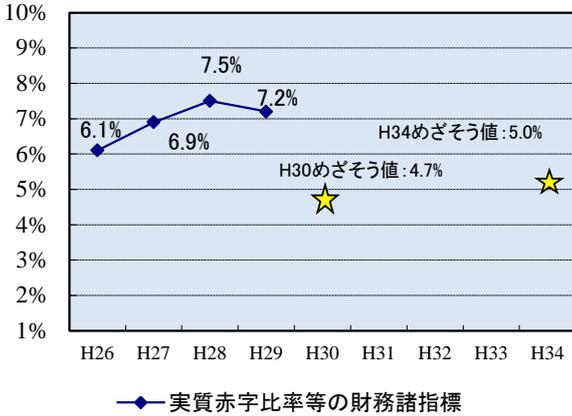
【動き】 前回調査から6.0ポイントの増と、非常に順調な推移を見せており、引き続きH30年度・H34年度めざそう値を既に達成した状態となっています。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-4

実質赤字比率等の財務諸指標

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：企画総務部財務課

【定義】 実質公債費比率

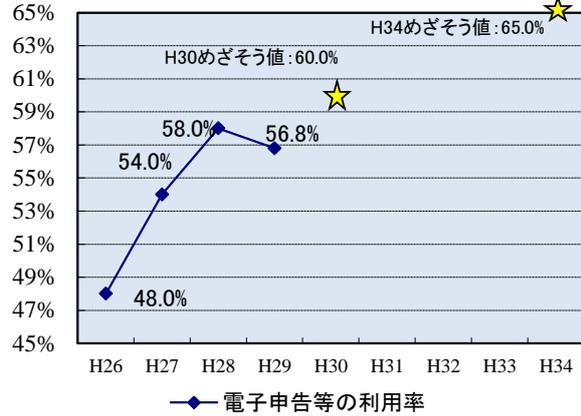
【動き】 前回調査から0.3ポイントの減となりました。H30めざそう値までは2.5ポイント、H34めざそう値までは2.2ポイントの開きがある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-5

電子申告等の利用率

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：企画総務部税務課

【定義】 法人・給報等総数に対するeI-tax使用の割合

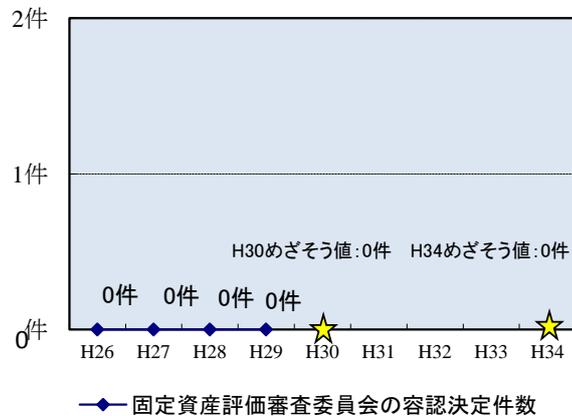
【動き】 前回調査から1.2ポイントの減となり、減少に転じました。H30めざそう値とは3.2ポイント、H34めざそう値とは8.2ポイントの開きがあります。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-6

固定資産評価審査委員会の容認決定件数

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：企画総務部税務課

【定義】 固定資産評価審査委員会の容認決定件数

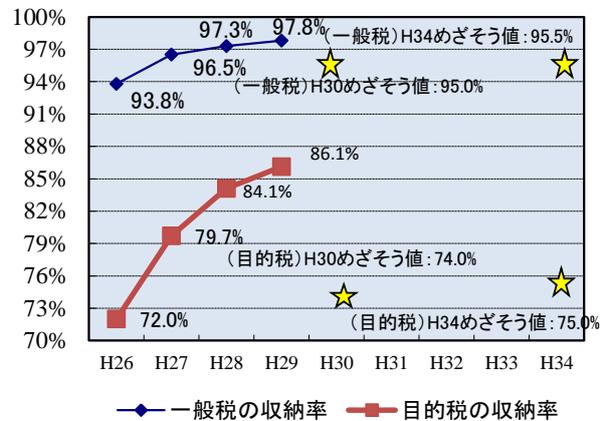
【動き】 前回調査から変化はありませんでした。H30・34めざそう値をとともに達成している状態となっています。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-7

一般税・目的税の収納率

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：企画総務部収納課

【定義】 一般税・目的税の収納率

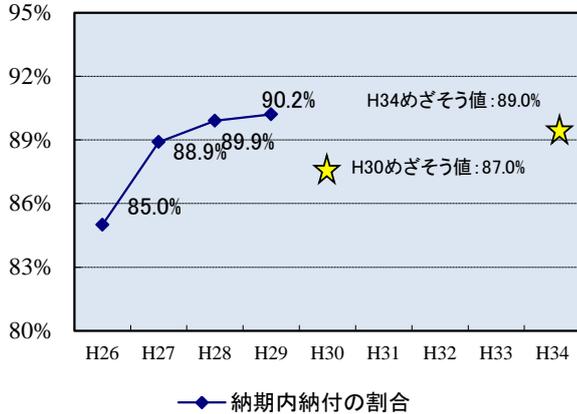
【動き】 前回調査から、一般税については0.5ポイント、目的税については2ポイントそれぞれ増となっており、順調な推移となっています。H30・34めざそう値をとともに達成している状態となっています。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-8

納期内納付の割合

■ 指標の推移とめざそう値



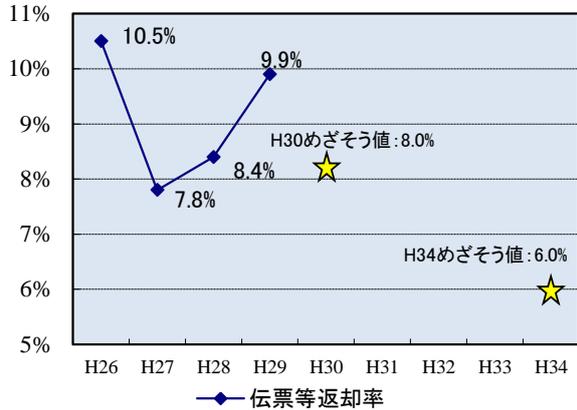
■ 出典：企画総務部収納課
 【定義】 税込総額のうち、納期限内に収められた金額の割合
 【動き】 前回調査から0.3%の増となり、順調な推移を見せています。H30・34目指そう値を共に達成している状態となっています。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-9

伝票等返却率

■ 指標の推移とめざそう値



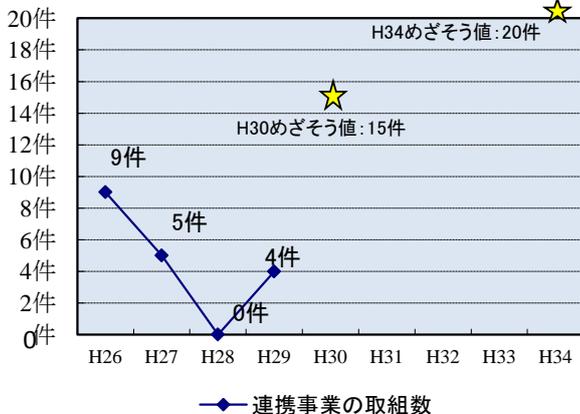
■ 出典：企画総務部会計課
 【定義】 審査件数に対する返却件数の割合
 【動き】 前回調査から1.5%の増と、2年連続で増加している状態です。H30めざそう値とは1.9%の差があります。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標となります。

○ 代表指標No.24-10

連携事業の取組数

■ 指標の推移とめざそう値



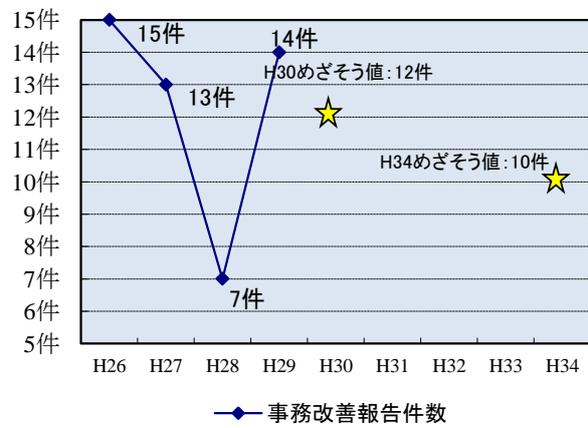
■ 出典：企画総務部企画政策課
 【定義】 連携事業件数
 【動き】 前年度が0件だったこともありましたが、前回調査から4件の増と、増加に転じました。ただし、H30めざそう値とは11件と、大きな差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-11

事務改善報告件数

■ 指標の推移とめざそう値



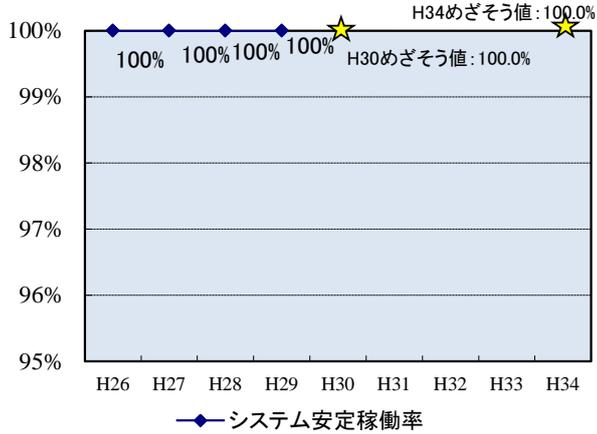
■ 出典：企画総務部総務課
 【定義】 事務改善報告件数
 【動き】 前回調査から7件の増と、大幅に後退してしまっています。H30めざそう値とは2件の差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標となります。

○ 代表指標No.24-12

システム安定稼働率

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：企画総務部情報システム課

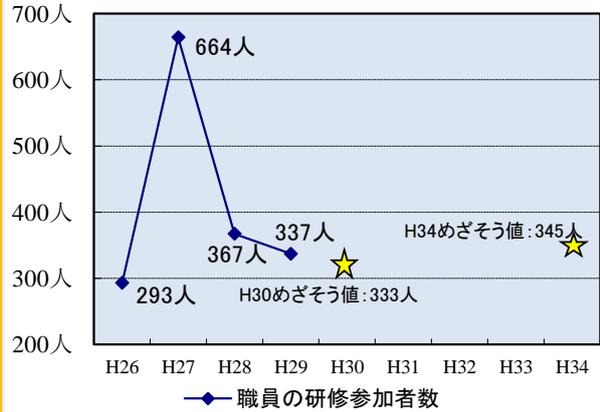
- 【定義】 住民情報システムの安定稼働率（稼働実績／稼働予定時間）
 【動き】 前回調査から変化はなく、100%の安定稼働を確保することができています。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-13

職員の研修参加者数

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：企画総務部総務課

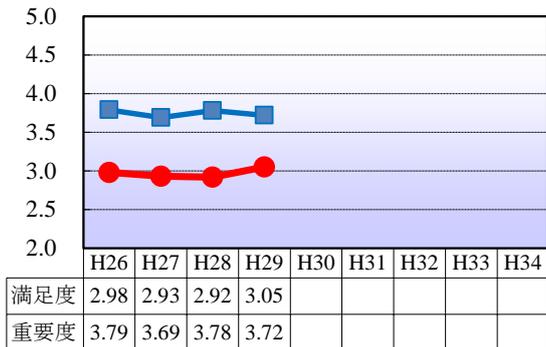
- 【定義】 庁内研修への参加職員数
 【動き】 前回調査から30人の減となり、2年連続で減少しています。ただし、H30めざそう値を達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

最適化条件No.25

自ら学んだり、取り組める環境がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

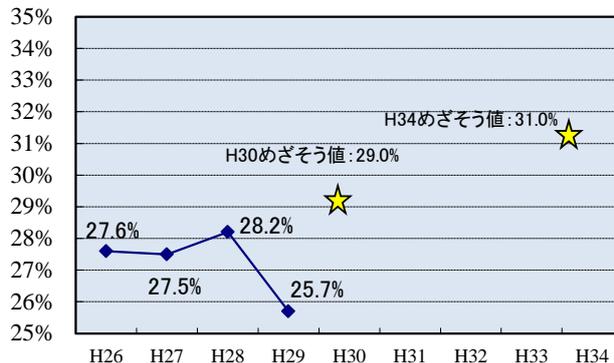
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「自ら学んだり、取り組める環境がある」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.13ポイントの増、重要度は0.06ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.67ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としてはニーズは減少傾向にあることが伺えます。

代表指標No.25-1

趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

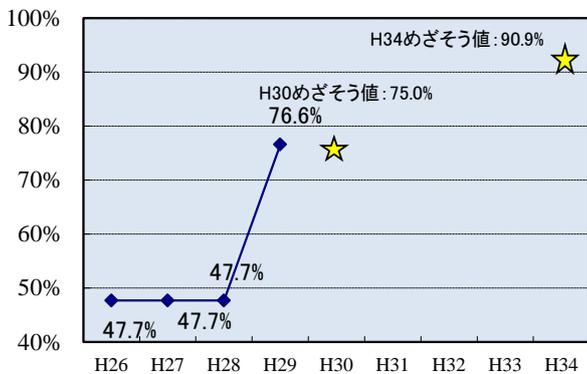
【定義】 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

【動き】 前回調査から2.5ポイントの減と、減少に転じています。H30年度めざそう値とは3.3ポイント、H34年度めざそう値とは5.3ポイントの開きがあります。

代表指標No.25-2

学校トイレの環境改善率

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 学校トイレの環境改善率

■ 出典：教育委員会教育総務課

【定義】 市内小中学校におけるトイレの洋式化率

【動き】 事業の推進により、前回から28.9ポイントと大幅に増加しました。H30めざそう値をすでに達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.25に関連する代表指標です。

代表指標No.25-3

屋内体育施設の利用者数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 屋内体育施設の利用者数

■ 出典：教育委員会スポーツ推進課

【定義】 市内屋内体育施設の月平均利用者数

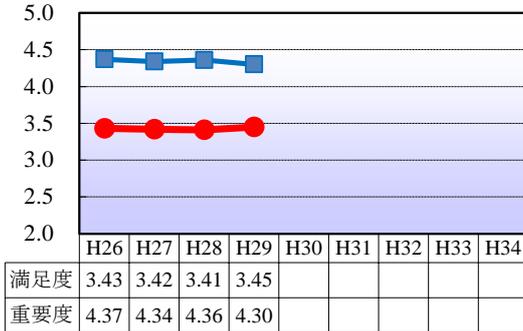
【動き】 前回から489人の減となり、減少傾向に転じました。H30めざそう値とは、1,174人の差があります。

【備考】 最適化条件No.25に関連する代表指標です。

最適化条件No.26

子ども達が生き生きとしている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

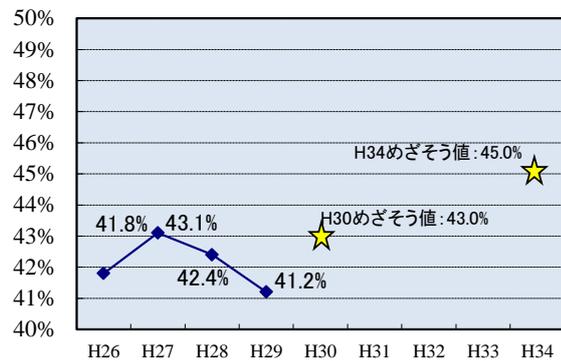
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「子どもたちが生き生きとしている」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.04ポイント増、重要度は0.06ポイントの減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.85ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.26

1年間無欠席の児童生徒の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 1年間無欠席の児童生徒の割合

■ 出典：教育委員会学校教育指導課

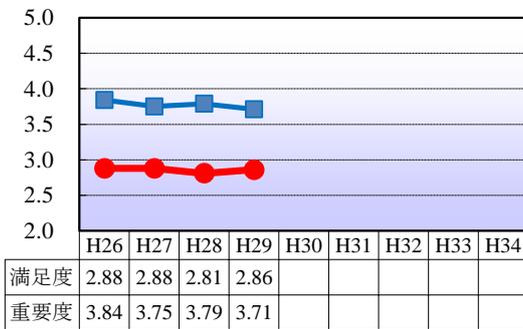
【定義】 無欠席であった市内小中学校児童生徒の割合

【動き】 前回から1.2ポイントの減と、2年連続で減少傾向にあります。H30めざそう値とは1.8ポイントの差がある状態となっています。

最適化条件No.27

自分の夢の実現のために取り組むことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

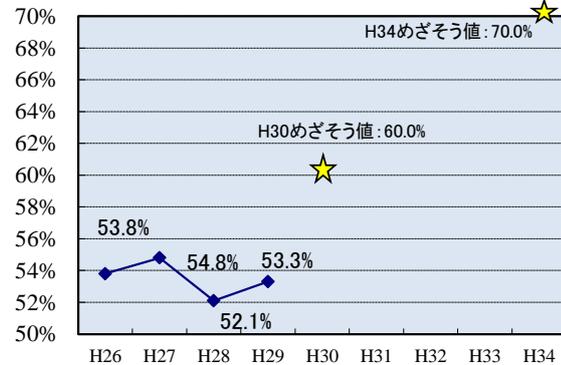
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「自分の夢の実現のために取り組むことができる」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.05ポイント増、重要度は0.08ポイントの減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差自体は0.85ポイントと、一定の市民ニーズのまま推移しています。

代表指標No.27

夢に向かって努力している人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 夢に向かって努力している人の割合

■ 出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

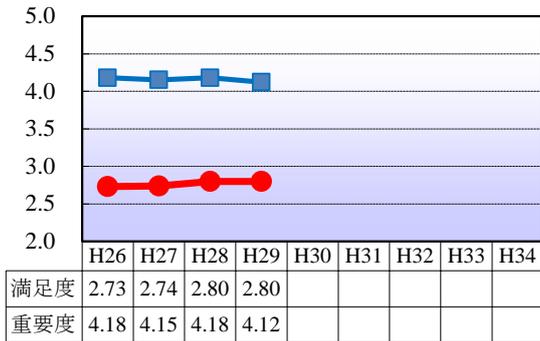
【定義】 夢に向かって努力している人の割合

【動き】 前回調査から1.2ポイントの増と、増加に転じました。H30年度めざそう値とは6.7ポイント、H34年度めざそう値とは16.7ポイントの非常に大きな開きがあります。

最適化条件No.28

子どもたちの体力・学力が向上する

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

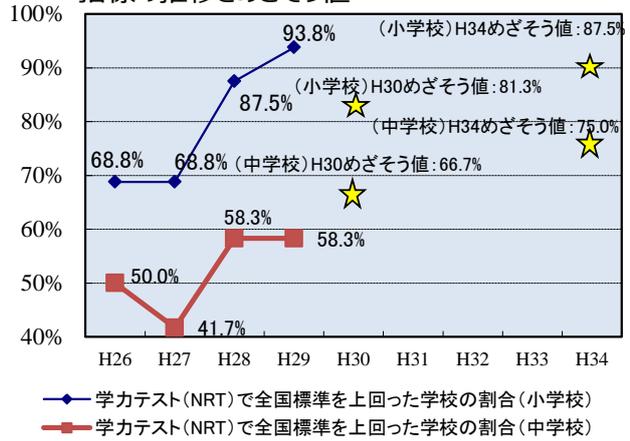
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「子どもたちの体力・学力が向上する」ことについて、市民アンケートでは満足度は変わらず、重要度は0.06ポイントの減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.32ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.28

学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校・中学校）

指標の推移とめざそう値



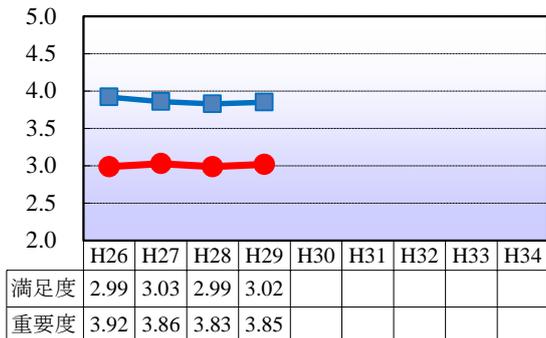
■出典：教育委員会学校教育指導課

【定義】 学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合
【動き】 小学校については、前回から6.3ポイントの増と順調に推移しており、H30・34の両めざそう値を達成している状況となっています。
一方中学校については、前回調査と変わらない値となっており、H30めざそう値とは8.4ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.29

地域と学校の間で交流がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

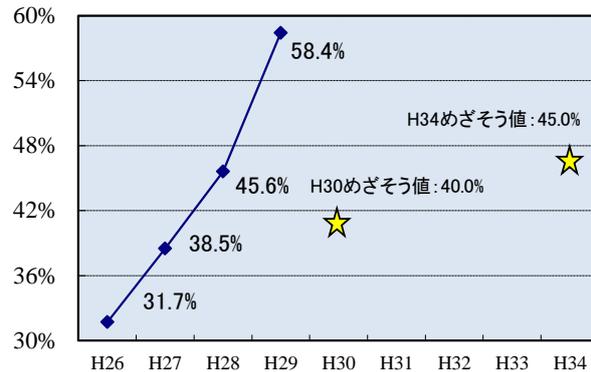
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「地域と学校の間で交流がある」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.03ポイントの増、重要度は0.02ポイント増で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.83ポイントと、一定の市民ニーズはあるものの、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.29-1

子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

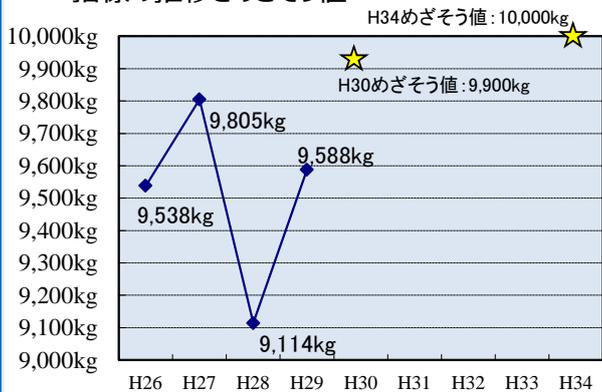
【定義】 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合
【動き】 前回調査から12.8ポイントの増と、非常に順調な推移を見せています。H30・H34年度めざそう値を共に達成している状態となっています。

※H29年度から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

代表指標No.29-2

学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

■ 指標の推移とめざそう値



◆学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

■出典：教育委員会学校給食センター

【定義】 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

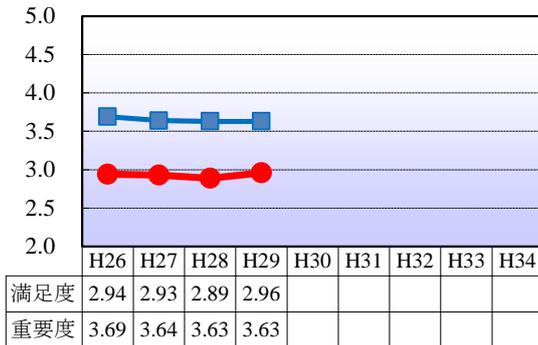
【動き】 増減の動きが激しい指標ですが、前回調査から474kgの増と、大きな増となりました。H30めざそう値とは312kgの差がある状態となっています。

【備考】 最適化条件No.29に関連する代表指標です。

最適化条件No.30

スポーツに親しむ機会がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

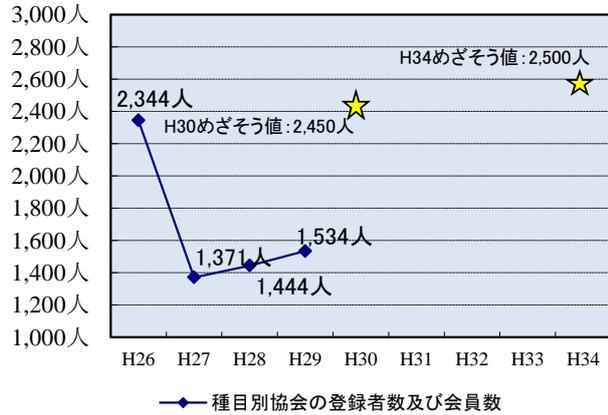
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「スポーツに親しむ機会がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.07ポイント増、重要度は変わらず、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差自体は0.67ポイントと、ほぼ一定の市民ニーズのまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.30

種目別協会の登録者数及び会員数

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：教育委員会生涯学習スポーツ課

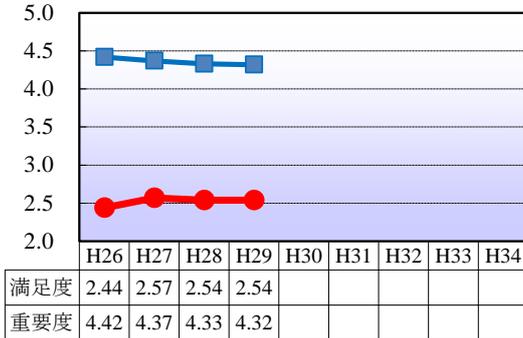
【定義】 種目別協会の登録者数及び会員数

【動き】 前回調査から90人の増となり、H27からは微増の傾向ではありますが、H30めざそう値とは916人と、依然として非常に大きな差がある状態です。

最適化条件No.31

働く場がある

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

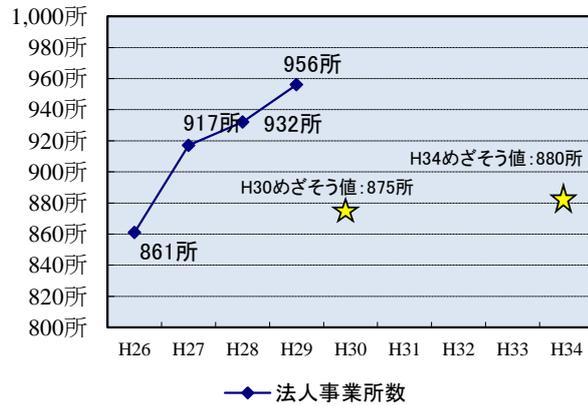
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「働く場がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が変わらず、重要度は0.01ポイントの減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.78ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.31

法人事業所数

■ 指標の推移とめざそう値

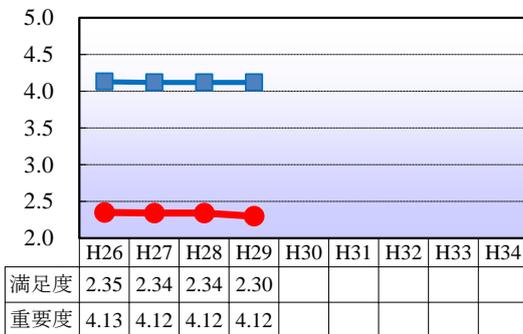


【定義】 市内法人事業所数
【動き】 前回調査から24所の増となり、引き続き順調に推移している状態となっています。H30年度・H34年度めざそう値はともに達成している状態となっています。

最適化条件No.32

農業の担い手がいる

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

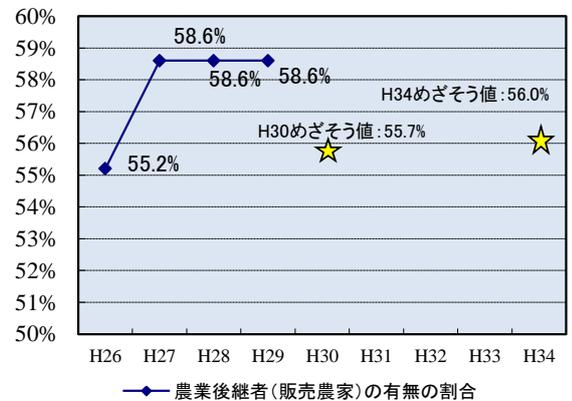
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「農業の担い手がいる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.04ポイント減、重要度は変化がなく、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.82ポイントと変わらず、市民ニーズは高い水準のまま、ほぼ横ばいの推移であることが伺えます。

代表指標No.32

農業後継者（販売農家）の有無の割合

■ 指標の推移とめざそう値

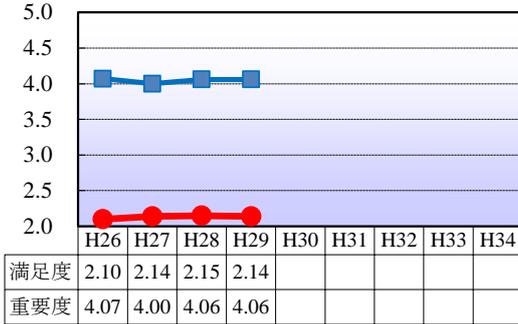


【定義】 農家（販売農家）のうち、後継者がいる農家の割合
【動き】 前回調査から変化はありませんでした。H30・34めざそう値をともに達成している状態となっています。

最適化条件No.33

みんなが自分のやりたい仕事ができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

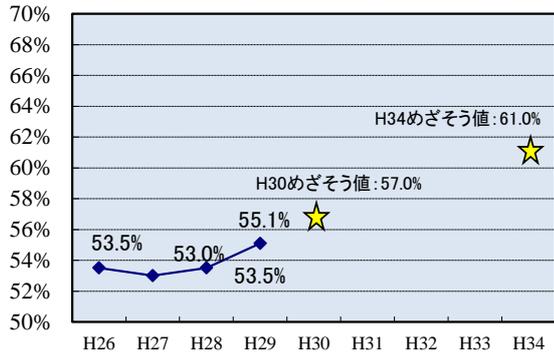
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「みんなが自分のやりたい仕事ができる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.01ポイント減、重要度は変わらず、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.92ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.33

現在の仕事に満足している人の割合

指標の推移とめざそう値



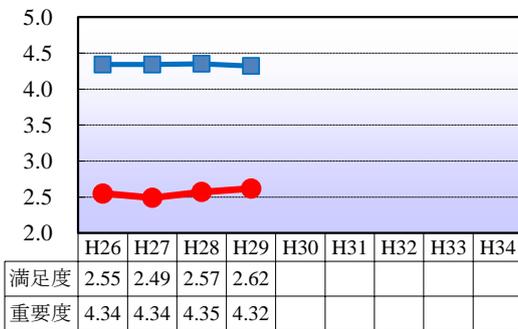
■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

【定義】 現在の仕事に満足している人の割合
【動き】 前回調査から1.6ポイントの増となりました。しかしながら、H30年度めざそう値とは1.9ポイント、H34年度めざそう値とは5.9ポイントの開きがあります。

最適化条件No.34

子育てしながらでも安心して働くことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

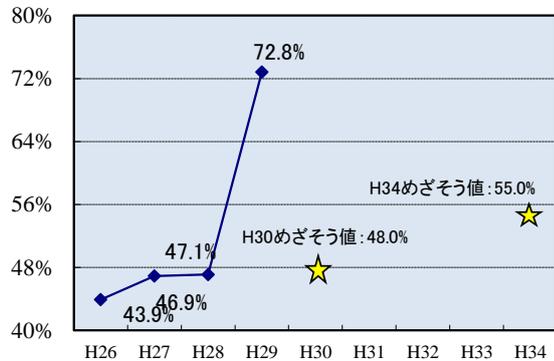
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「子育てしながらでも安心して働くことができる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.05ポイントの増、重要度は0.03ポイントの減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.70ポイントと、市民ニーズは高い水準のまま、ほぼ横ばいの推移であることが伺えます。

代表指標No.34

子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

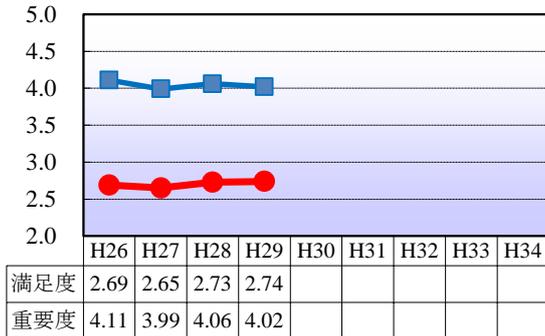
【定義】 子育てに対して勤務先の理解があると感じる人の割合
【動き】 前回調査から25.7ポイントの大幅増となりました。H30年度・H34年度めざそう値をともに達成している状態となっています。

※H29年度から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

最適化条件No.35

市の特色を活かした産業がある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

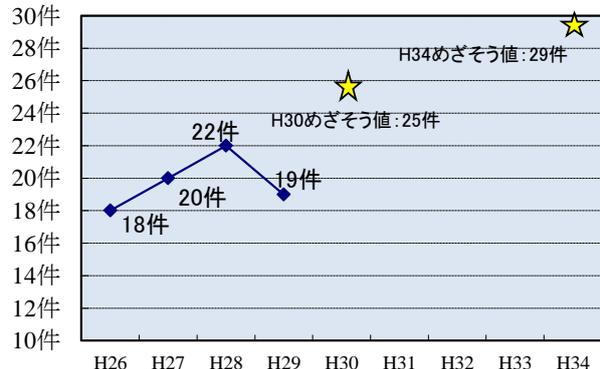
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「市の特色を活かした産業がある」ことについて、市民アンケートでは満足度は0.01ポイントの増、重要度は0.04ポイント減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.28ポイントと、市民ニーズは高く、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.35-1

I P Uイノベーションセンター・パークへの立地件数

指標の推移とめざそう値



◆ IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数

■ 出典：経済産業部企業振興課

【定義】 イノベーションセンター・パークへの入居企業総数

【動き】 前回調査から3件の減となり、減少に転じました。H30めざそう値とは6件、H34めざそう値とは10件の開きがある状態です。

代表指標No.35-2

セミナー、フォーラム等の交流事業の回数

指標の推移とめざそう値



◆ セミナー、フォーラム等の交流事業の回数(積み上げ)

■ 出典：経済産業部企業振興課

【定義】 地域人材育成を目的としたセミナー、フォーラム等交流事業数

【動き】 平成29年度には34回の実施となり、順調な推移を見せています。

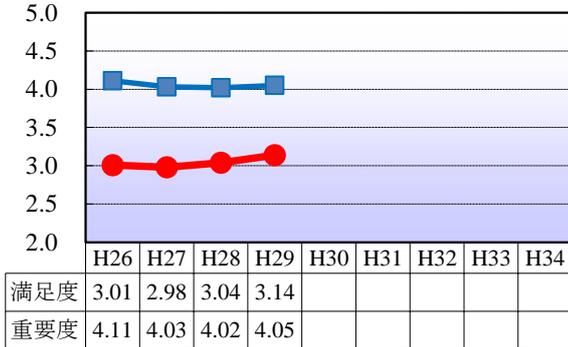
H30年度めざそう値をすでに達成している状態であり、H34めざそう値とは46回の開きがあります。

【備考】 最適化条件No.29に関連する代表指標です。この指標は、積み上げの回数を表しています。

最適化条件No.36

地場産品が広く販売されている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

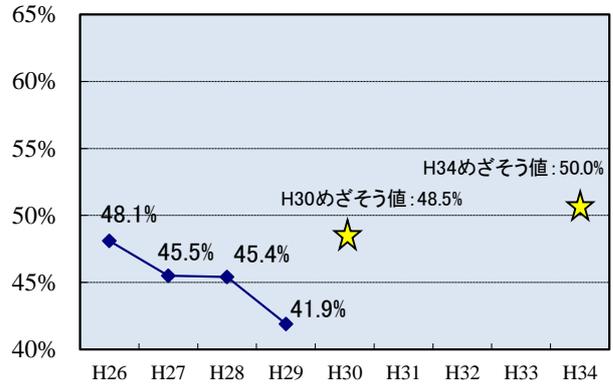
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「地場産品が広く販売されている」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.10ポイント増、重要度は0.03ポイントの増で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.91ポイントと、一定の市民ニーズはありますが、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.36

滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

指標の推移とめざそう値



滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

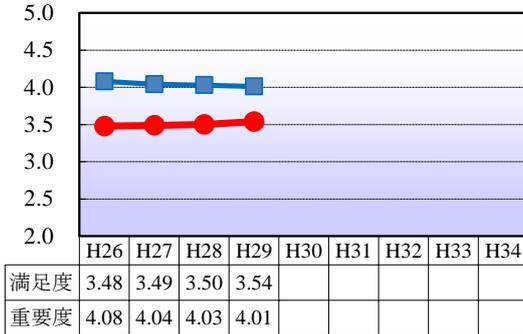
【定義】 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

【動き】 前回調査から3.5ポイントの減と、減少傾向にあります。H30年度めざそう値とは6.6ポイント、H34年度めざそう値と8.1ポイントの開きがあります。

最適化条件No.37

文化・伝統が受け継がれている

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

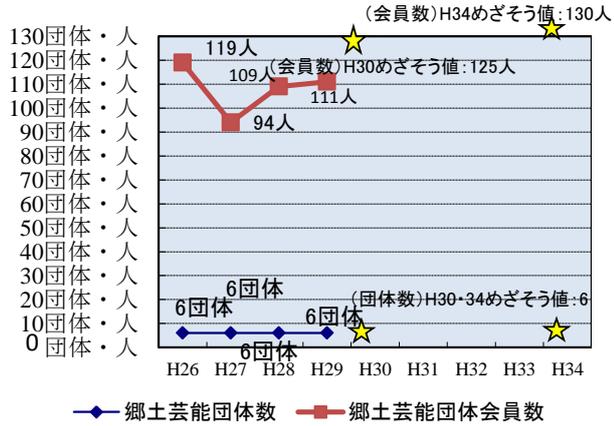
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「文化・伝統が受け継がれている」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.04ポイント増、重要度は0.02ポイントの減で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.47ポイントと、ほぼ一定の市民ニーズのまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.37

郷土芸能団体数及び会員数

指標の推移とめざそう値

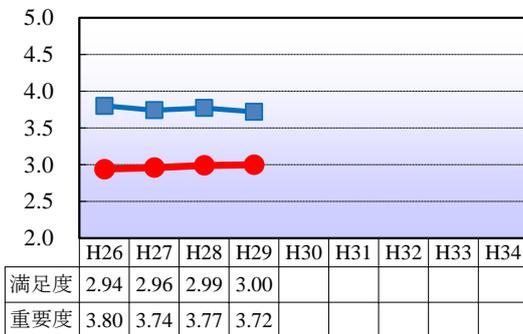


【定義】 郷土芸能の継承を目的とする団体数と、団体の会員のうち青少年の人数
【動き】 団体数については、前回調査から変化はなく、H30・34めざそう値を達成している状態となっています。会員数については、前回調査から2人の増と、緩やかではありますが増加し続けており、H30めざそう値とは14人、H34めざそう値とは19人の開きがある状態です。

最適化条件No.38

文化・伝統や芸術に親しむ機会がある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

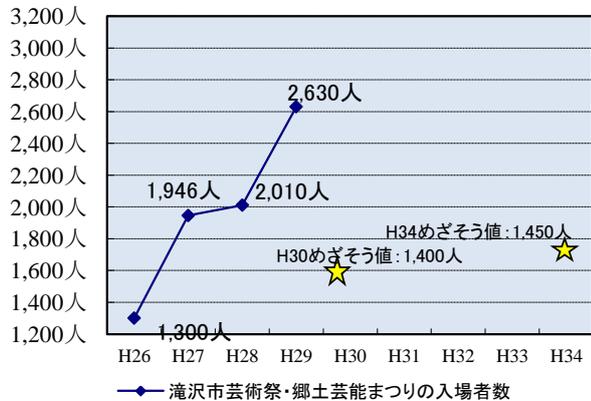
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「文化・伝統や芸術に親しむ機会がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.01ポイント増、重要度は0.05ポイント減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.72ポイントと、ほぼ一定の市民ニーズのまま、ほぼ横ばいの推移であることが伺えます。

代表指標No.38

滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数

指標の推移とめざそう値

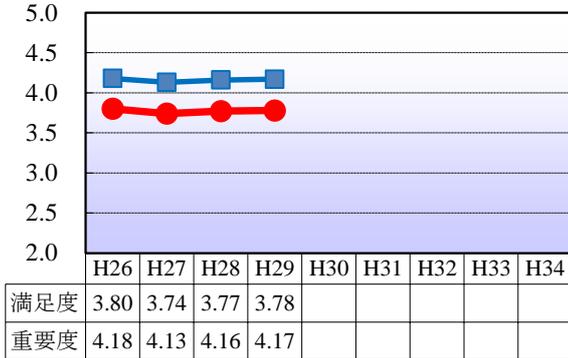


【定義】 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数
【動き】 前回調査から620人の大幅増となり、順調に増加を続けています。H30・34めざそう値をともに達成している状態となっています。

最適化条件No.39

チャグチャグ馬コの知名度が活かされている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

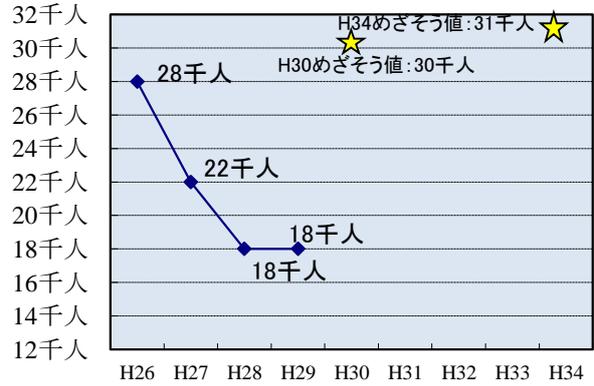
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「チャグチャグ馬コの知名度が活かされている」ことについて、市民アンケートでは満足度・重要度共に0.01ポイント増で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.39ポイントと、比較的満足度が高く、市民ニーズの推移としては横ばいであることが伺えます。

代表指標No.39

チャグチャグ馬コの入込客数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ チャグチャグ馬コの入込客数

■ 出典：経済産業部商工観光課

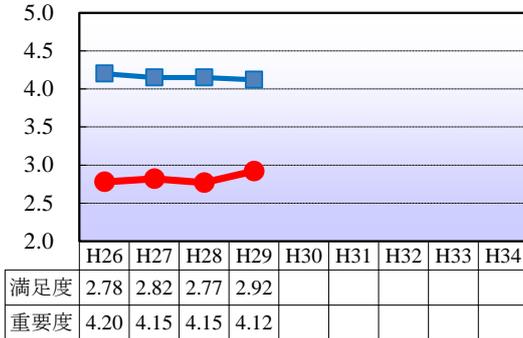
【定義】 チャグチャグ馬コにおける入込客人数

【動き】 前回調査から変化はありませんでした。H30めざそう値とは12千人、H34めざそう値とは13千人の非常に大きな開きがあります。

最適化条件No.40

必要な情報が分かりやすく伝わる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

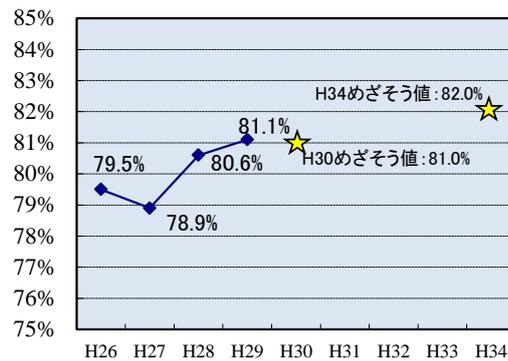
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「必要な情報が分かりやすく伝わる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.15ポイント増、重要度は0.03ポイント減となっています。満足度と重要度の差は1.20ポイントと、満足度の高まりによって市民ニーズは縮小傾向にあることが伺えます。

代表指標No.40

広報たきざわを読んでいる人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 広報たきざわを読んでいる人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

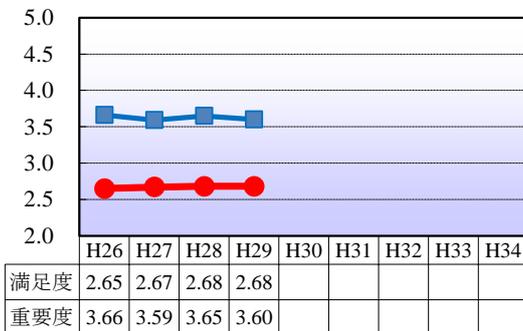
【定義】 広報たきざわを読んでいる人の割合

【動き】 前回調査から0.5ポイントの増となり、H30年度めざそう値とはを達成している状況となっています。H34年度めざそう値とは、0.9ポイントの開きがあります。

最適化条件No.41

同じ目的を持った人との交流がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「同じ目的を持った人との交流がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が変化なし、重要度は0.05ポイント減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.92ポイントと、ある程度の市民ニーズのまま、ほぼ横ばいの推移であることが伺えます。

代表指標No.41

人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

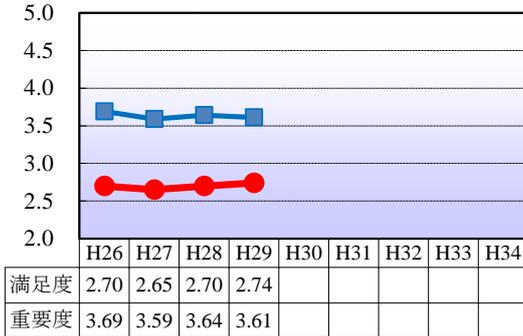
【定義】 人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

【動き】 「ビッグルーフトきざわ」のフルオープン等が影響したためか、前回調査から7.4ポイントの大幅増となりました。H30・H34めざそう値をともに達成している状態です。

最適化条件No.42

地域間での交流がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「地域間での交流がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.04ポイントの増、重要度は0.03ポイントの減となりました。満足度と重要度の差は0.87ポイントとなっており、ある程度の市民ニーズのまま、推移としてはほぼ横ばいであることが伺えます。

代表指標No.42

ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合

指標の推移とめざそう値



●ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

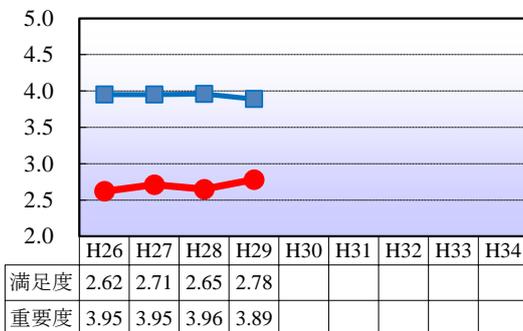
【定義】ここ一年で滝沢市内の自分が住んでいる地域以外の行事に参加した人の割合

【動き】前回調査から2.3ポイントの増となり、順調に推移しています。ただし、H30年度めざそう値とは2.1ポイント、H34年度めざそう値とは7.1ポイントの開きがあります。

最適化条件No.43

必要な時に欲しい情報が得られる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

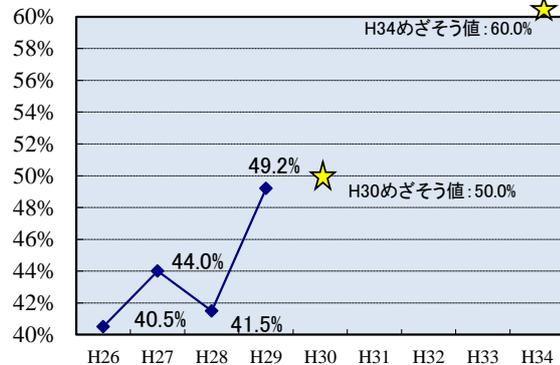
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「必要な時に欲しい情報が得られる」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.13ポイントの増、重要度は0.07ポイントの減となりました。満足度と重要度の差は1.11ポイントと、市民ニーズは高い水準のままですが、重要度・満足度のギャップは縮小傾向にあることが伺えます。

代表指標No.43

普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



●普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

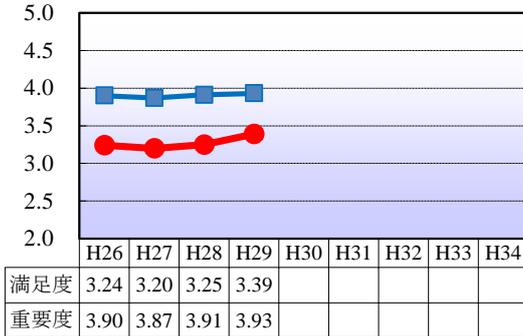
【定義】普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

【動き】前回調査から7.7ポイントの増となり、順調な推移となりました。ただし、H30年度めざそう値までは0.8ポイント、H34年度めざそう値までは10.8ポイントの大きな開きがある状態です。

最適化条件No.44

人々が集まり活動できる場所がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

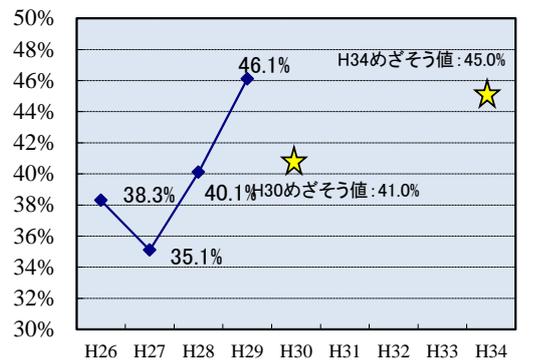
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「人々が集まり活動できる場所がある」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.14ポイント増、重要度は0.02ポイントの増で、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は0.54ポイントと、ある程度の市民ニーズのまま、推移としては縮小傾向にあることが伺えます。

代表指標No.44

人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

■出典：平成29年度滝沢地域社会に関するアンケート

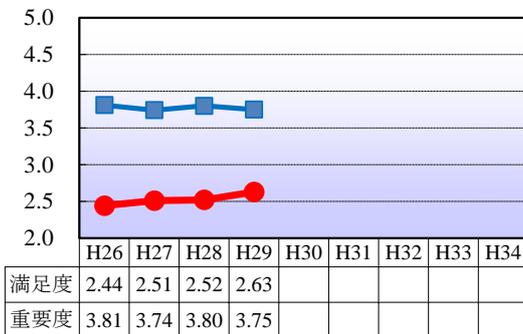
【定義】 人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

【動き】 前回調査から6.0ポイントの増と、順調な推移を続けています。H30年度・H34年度めざそう値をともに達成している状態です。

最適化条件No.45

地域や世代を超えて市全体がつながっている

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
平成29年度滝沢地域社会に関するアンケートより

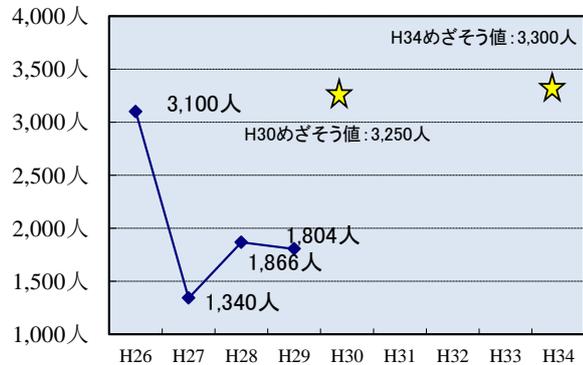
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

「地域や世代を超えて市全体がつながっている」ことについて、市民アンケートでは満足度が0.11ポイントの増、重要度は0.05ポイントの減と、ほぼ横ばいとなっています。満足度と重要度の差は1.12ポイントと、市民ニーズは高い水準のままですが、縮小の傾向にあることが伺えます。

代表指標No.45

市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

指標の推移とめざそう値



◆市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

■出典：教育委員会生涯学習スポーツ課

【定義】 平成27年度における市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

【動き】 前回調査から62人の減となりました。H30めざそう値とは1,446人、H34めざそう値とは1,496人と、非常に大きな開きがある状態です。

参 考

第1次滝沢市総合計画基本構想 主要統計データの動き

総合計画基本構想内の「主要統計データ」について、総合計画策定時と今回の報告書作成時とのデータの動きを一覧にまとめています。
一覧表内「動き」の見方については、以下のとおりです。
「ー」…策定時から最新データが更新されていない
「↗」…策定時よりデータの数値が増加している
「↘」…策定時よりデータの数値が減少している
「＝」…策定時からデータは更新されているが、数値が変動していない
※各課名については、本報告書策定時である平成30年8月現在の名称を記載しています。

参考
第1次滝沢市総合計画基本計画主要統計データの動き

NO.	指標	一次資料(原典)	総合計画策定時	年度	動き	最新	年度
活かす							
1	森林面積	農林業センサス	7,555ha	21年度	=	7,555ha	26年度
2	岩手山登山者数(滝沢市登山口分)	商工観光課	11,543人	25年度	↗	13,994人	29年度
3	グリーン・ツーリズム関連施設利用状況	農林課	1,694人	24年度	↘	733人	29年度
支え合う							
4	ごみ排出量(1人1日当たり)	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	931g	24年度	↘	887g	28年度
5	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	26.40%	24年度	↘	24.70%	28年度
6	交通事故発生件数	岩手県「交通統計」	108件	25年	↘	83件	28年
7	交通事故死傷者数	岩手県「交通統計」	137人	25年	↘	104人	28年
8	刑法犯認知件数	岩手県警察本部「犯罪統計」	175件	25年	↘	103件	29年
9	火災出火件数(人口1万人当たり)	岩手県防災消防年報	1.65件	25年	↗	2.72件	28年
10	単身世帯比率	総務省「国勢調査報告書」	24.77%	22年度	↗	27.22%	27年度
11	1人暮らしの高齢者世帯比率	総務省「国勢調査報告書」	4.87%	22年度	↗	6.54%	27年度
12	3世代世帯割合	総務省「国勢調査報告書」	7.87%	22年度	↗	8.87%	27年度
13	人口自然増加数、社会増加数	総務省「国勢調査報告書」	145人(自然) / 202人(社会)	22年度	↘	29人(自然) / △51人(社会)	27年度
14	婚姻率・離婚率(人口千人当たり)	厚生労働省「人口動態調査」	5.0%(婚) / 1.72%(離)	24年	↘	4.4%(婚) / 1.66%(離)	28年
15	自主防災組織の活動参加者数	防災防犯課	2,625人	25年度	↘	1,890人	29年度
16	自主防災組織率	防災防犯課	96.70%	26年度	↗	100.00%	29年度
17	消防団員充足率	防災防犯課	84.05%	26年度	↘	80.24%	29年度
18	転入・転出口比率(転入・転出者数/3月末人口)	市民課	転入5.87%、転出5.23%	25年度	↘	転入4.49%、転出4.78%	29年度
19	自治会加入率	地域づくり推進課	81.15%	25年度	↗	81.86%	29年度
20	NPO団体数	地域づくり推進課	12団体	25年度	↘	11団体	29年度
21	スクールガード登録者数	学校教育指導課	354人	25年度	↘	311人	29年度
輝く							
22	出生数、出生率(人口千人当たり)	保健福祉年報(人口動態編)	518人 / 9.5%	24年	↘	448人 / 8.1%	28年
23	死亡数、死亡率(人口千人当たり)	保健福祉年報(人口動態編)	373人 / 6.8%	24年	↗	406人 / 7.3%	28年
24	乳児死亡率	保健福祉年報(人口動態編)	1.90%	24年	↗	2.20%	28年
25	高齢化率	総務省「国勢調査報告書」	16.97%	22年度	↗	21.38%	27年度
26	老年化指数(65歳以上人口÷年少人口×100)	総務省「国勢調査報告書」	113.38%	22年度	↗	148.78%	27年度
27	老年人口指数(65歳以上人口÷生産年齢人口×100)	総務省「国勢調査報告書」	24.90%	22年度	↗	33.58%	27年度
28	平均寿命	厚生労働省「市区町村別生命表の概況」	男79.6歳 / 女86.7歳	22年	↗	男80.1歳 / 女86.7歳	27年
29	自殺者数、自殺率(10万人当たり)	保健福祉年報(人口動態編)	11人、(10万人当たり)20.1%	24年	↗	16人、(10万人当たり)28.9%	28年
30	悪性新生物死亡者数	保健福祉年報(人口動態編)	102人	24年	↗	119人	28年
31	脳血管疾患死亡者数	保健福祉年報(人口動態編)	57人	24年	↘	49人	28年
32	病院・一般診療所数	厚生労働省「医療施設調査」	病院 2施設 一般診療所 27施設	23年	↘	病院 2施設 一般診療所 26施設	28年
33	病院・一般診療所医師数	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」	31人	24年	↗	34人	28年
34	病院・一般診療所病床数	厚生労働省「医療施設調査」	病院 329床 一般診療所 36床	25年	↘	病院 230床 一般診療所 10床	28年
35	ファミリー・ヘルプセンター登録者数	児童福祉課	547人	25年度	↗	695人	29年度
36	ファミリー・ヘルプセンター利用者数	児童福祉課	1,057人	25年度	↗	1,563人	29年度
37	保育所入所定員数	児童福祉課	1,218人	26年度	↗	1,295人	29年度
38	保育所・子ども園入所待機児童数	児童福祉課	8人	26年4月	↗	27人	29年度
39	放課後児童クラブ数	児童福祉課	16クラブ	26年度	=	16クラブ	29年度
40	介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	介護老人福祉施設 123人 介護老人保健施設 196人	25年度	-	介護老人福祉施設 50人 介護老人保健施設 428人	28年度
41	介護老人福祉施設数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	2施設	25年度	↘	1施設	28年度
42	身体障害者更正援護施設数	厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」	0施設	25年度	=	0施設	28年度
43	胃腸病検診受診率	健康推進課	32.30%	25年度	↗	33.80%	29年度
44	大腸がん検診受診率	健康推進課	32.60%	25年度	↗	34.60%	29年度
45	肺がん検診受診率	健康推進課	34.80%	25年度	↗	38.90%	29年度
46	老人福祉費(人口1人当たり)	高齢者支援課	9,499円	25年度	↗	10,648円	29年度
47	要介護者認定率	高齢者支援課	16.79%	25年度	↘	16.16%	29年度
48	国民健康保険医療費(1人当たり)	保険年金課	329,324円	25年度	↗	371,450円	29年度
49	後期高齢者医療費(1人当たり)	保険年金課	861,507円	24年度	↗	867,157円	28年度
50	特定健康診査受診率(国保)	保険年金課	43.30%	24年度	↗	46.30%	28年度
51	健康教室参加延べ人数	市勢統計	1,786人	24年度	↗	3,804人	28年度
52	健康相談参加延べ人数	市勢統計	1,846人	24年度	↘	1,323人	28年度

参考
第1次滝沢市総合計画基本計画主要統計データの動き

NO.	指標	一次資料(原典)	総合計画策定時	年度	動き	最新	年度
活かす							
53	持ち家の割合	総務省「国勢調査報告書」	70.82%	22年度	↘	70.10%	27年度
54	延べ面積(1住宅当たり)	総務省「住宅土地統計調査」	105.75㎡	25年度	-	105.75㎡	25年度
55	公園総面積	市勢統計	38.05ha	25年度	↗	38.10ha	29年度
56	下水道処理人口普及率	市勢統計	57.60%	24年度	↗	66.41%	28年度
57	水洗化人口	岩手県HP	42,880人	25年度	↗	45,414人	29年度
58	水洗化率	岩手県HP	77.9	25年度	↗	97.90%	29年度
59	市町村道舗装率	市勢統計	85.10%	24年度	↗	85.50%	28年度
60	世帯あたり自家用乗用車普及台数(乗用車・軽自動車(4輪)合計/年度末世帯数)	市勢統計	1.595台	24年度	↗	1,604台	28年度
61	汚水処理人口普及率	各都道府県「汚水処理人口普及状況」	79.8%	25年度	↗	84.5%	29年度
62	市道路線数	市勢統計	1,327路線	24年	↗	1,347路線	28年
63	新設住宅着工戸数(木造・専用住宅)	市勢統計	215棟	25年	↘	189棟	29年
64	住宅延べ床面積(木造・専用住宅)	市勢統計	1,771,307㎡	25年	↗	1,861,858㎡	29年
学ぶ							
65	幼稚園就園率	文部科学省「学校基本調査」	65.40%	26年度	↘	43.80%	29年度
66	高等学校等進学率	文部科学省「学校基本調査」	99.80%	26年度	=	99.80%	29年度
67	大学等進学率	文部科学省「学校基本調査」	53.20%	26年度	↘	50.70%	29年度
68	人材バンク登録者数	文化振興課	72件	25年度	↘	64件	29年度
69	不登校児童・生徒出現率(千人当たり)	学校教育指導課	10.6人	25年度	↗	11.2人	29年度
70	図書館利用者数(図書貸し出し者数)	文化振興課	31,392人	25年度	↗	47,470人	29年度
71	睦大学生数	高齢者支援課	898人	25年度	↗	919人	29年度
働く							
72	労働力率	総務省「国勢調査報告書」	63.80%	22年度	↘	63.29%	27年度
73	完全失業率	総務省「国勢調査報告書」	6.89%	22年度	↘	3.78%	27年度
74	産業分類別就業者数・比率	総務省「国勢調査報告書」	第1次産業 1,374人(5.18%) 第2次産業 5,683人(21.46%) 第3次産業 19,067人(72.01%)	22年度	↗	第1次産業 1,399人(5.13%) 第2次産業 6,100人(22.35%) 第3次産業 19,792人(72.52%)	27年度
75	女性就業率	総務省「国勢調査報告書」	49.60%	22年度	↗	50.99%	27年度
76	農家数(販売農家数)、農家世帯比率	農林水産省「農業センサス」	878 / 4.5%	21年度	↘	765 / 3.7%	27年度
77	経営耕地面積(販売農家)	農林水産省「農業センサス」	2,535ha	21年度	↘	2,349ha	27年度
78	耕作放棄面積(販売農家)	農林水産省「農業センサス」	88ha	21年度	↗	135ha	27年度
79	製造業 事業所数・従業者数	経済産業省「工業統計調査」	44事業所 / 1,650人	24年度	-	50事業所 / 1,623人	27年度
80	製造品出荷額等	経済産業省「工業統計調査」	3,142,614万円	24年度	↘	2,957,019万円	27年度
81	商業 事業所数・従業者数	経済産業省「商業統計調査」(経済センサス)	228事業所 / 2,235人	23年度	↗	249事業所 / 2,253人	28年度
82	年間商品販売額	経済産業省「商業統計調査」(経済センサス)	101,463百万円	23年度	↘	71,111百万円	28年度
83	市町村内純生産	岩手県市町村民所得年報	83,569百万円	24年度分	-	83,569百万円	24年度分
84	市町村民所得(1人当たり)	岩手県市町村民所得年報	2,342千円	24年度分	↗	2,471千円	27年度分
85	課税対象所得額(納税義務者1人当たり)	市町村課税状況等の調	2.52千円	25年度	↗	2.61千円	29年度
86	飲食店数	総務省「統計でみる市町村の姿」	100件	23年度	↘	96件	29年度
87	小売業年間商品販売額	総務省「経済センサス-活動調査」 「商業統計調査」	34,815百万円	23年度	↗	37,535百万円	28年度
88	昼夜間人口比率(昼間人口/夜間人口)	市勢統計	86.41%	22年度	↗	87.72%	27年度
受け継ぐ							
89	国・県指定文化財件数	文化庁HP	国3、県3	25年度	=	国3、県3	29年度
90	市指定文化財件数	文化振興課	15件	25年度	=	15件	29年度
91	チャグチャグ馬コ行進馬数	商工観光課	88頭	25年度	↘	81頭	29年度
92	埋蔵文化財センター来場者数	文化振興課	2,735人	25年度	↘	1,879人	29年度
集う							
93	ふるさと交流館利用者数	生涯学習スポーツ課	110,715人	25年度	↘	109,776人	29年度
94	市公民館利用者数	文化振興課	42,642人	25年度	-	-	-
95	はつらつ元気館利用者数	地域包括支援センター	5,799人	25年度	↗	5,973人	29年度
96	市内屋内体育施設利用者数	生涯学習スポーツ課	164,845人	25年度	↘	153,915人	29年度
その他							
97	市長・市議会議員選挙投票率	岩手県選挙管理委員会HP	市長選挙 51.15%	26年度	-	市長選 51.15% / 市議選 49.72%	27年度
98	財政力指数(3か年平均)	総務省「市町村別決算状況調」	0.55	25年度	↗	0.57	28年度
99	自主財源比率(普通会計)	市勢統計	40.50%	24年度	↘	36.20%	28年度
100	地方税収額	総務省「市町村別決算状況調」	4,872,638千円	25年度	↗	5,176,426千円	28年度



2018年9月発行

滝沢市企画総務部企画政策課